

ユーザーズガイド

大型スキャナ



モデル: SD One MF

UG13119-1G JP SDONEMF FEB 2025

このガイドについて

2

目次

目次	2
このガイドについて	4
スキャナの概要	5
スキャナ正面図	5
スキャナ背面図	6
タッチスクリーンインターフェース(スクロールメニュー)	7
インストール	8
スキャナを理解する	8
スキャナカバーを開く	9
スキャンガラスを確認して清掃する	10
カバーを閉じる	10
スキャナに電源を接続する	11
画面とネットワーク接続の準備	12
取り付け中にスキャナの電源を入れる	13
インストールウィザード	14
スキャナのライセンス認証	21
画面の概要	24
スキャナの電源を入れる/切る	25
主電源スイッチ	25
スリープモード	25

原稿の位置	26
1 枚または複数の原稿のスキャン	26
スキャンしてファイルに保存	27
基本的な手順	27
スキャン データの保存先	28
独立したスキャンの保存先 – USB、電子メール	28
ユーザおよび個人のスキャンデータの保存先 – PC およびクラウドサービス	29
スキャンしてファイルに保存の設定	30
スキャンの検証	31
Contex LINK スキャンクライアントソフトウェア	33
コピーを取る	35
基本的な手順	35
コピー設定	36
コピーの検証	37
Wi-Fi の設定 – ワイヤレスネットワークを使用するためのスキャナの設定	38
Wi-Fi の設定 – ワイヤレスルータへの接続	39
基本設定と環境設定	40
管理者コンソール	41
HTTPS Security Warning!	42
スキャナのメンテナンス	43



このガイドについて

メンテナンスタスク.....	43
スキャンエリアの清掃.....	43
スキャナの補正.....	51
ガラスプレートの交換.....	55
スキャナソフトウェアのアップデート	64
スキャナに関するトラブルシューティング	66
技術サービス	66
スキャナの操作に関連する問題.....	68
スキャン結果に関連する問題	71
付録	73
安全に関する重要な注意事項	73
規則.....	74

このガイドについて

4

このガイドについて

このガイドでは、大型スキャナの操作および保守の方法について説明します。

このガイドは、読者がコンピュータやオペレーティングシステムに関する基本的な知識を備えていることを前提とし、それらのマニュアルで扱われているような情報には触れません。

以下の資料を必ずお読みください。

1. 「[インストール](#)」セクション – スキャナの正しいインストールおよびライセンス認証方法について説明します。
2. 「[スキャンしてファイルに保存](#)」および「[コピーを取る](#)」セクション – スキャナの操作方法について説明します。
3. 「[スキャナのメンテナンス](#)」セクション – スキャナで最適な結果を得る方法について説明します。

このユーザーズガイドは、次のモデルを対象とします。

スキャナモデル	説明
SD One MF 44	44 インチカラースキャナ
SD One MF 36	36 インチカラースキャナ
SD One MF 24	24 インチカラースキャナ



全シリーズのスキャナモデルがエナジースター®に準拠しています。

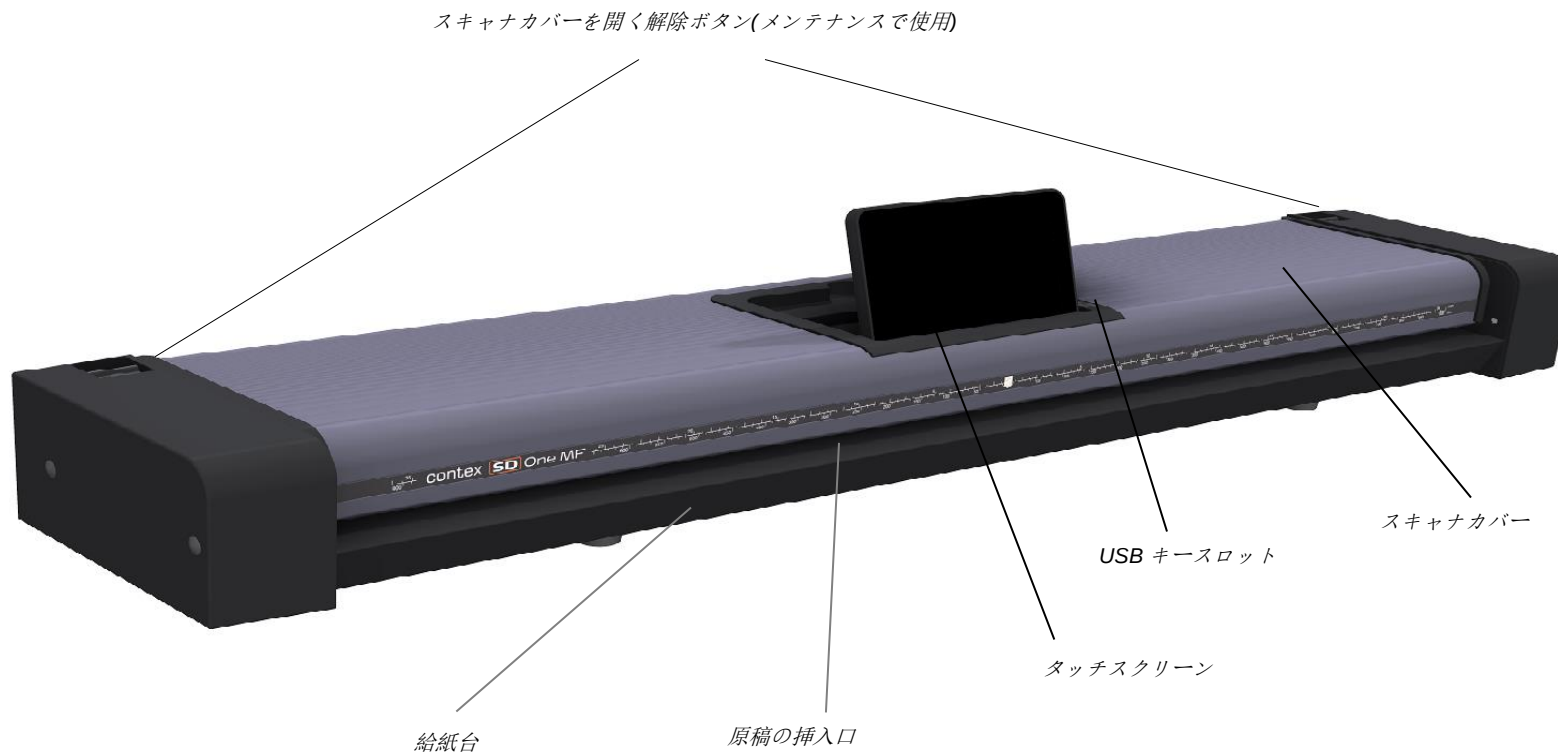
スキャナの設定

5

スキャナの概要

下図：スキャナを使用するために知っておく必要のある部品、ボタン、場所

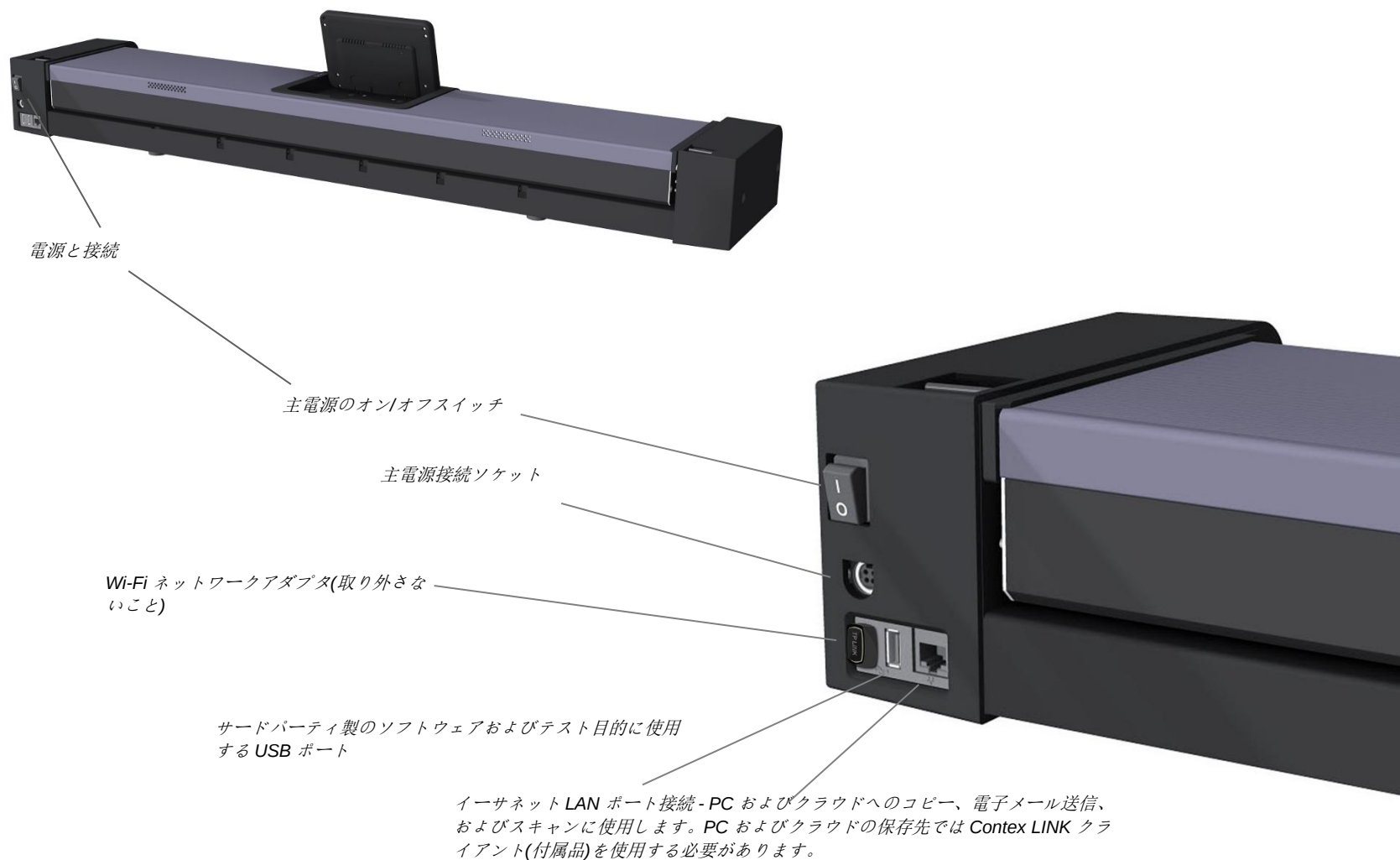
スキャナ正面図



スキャナの設定

6

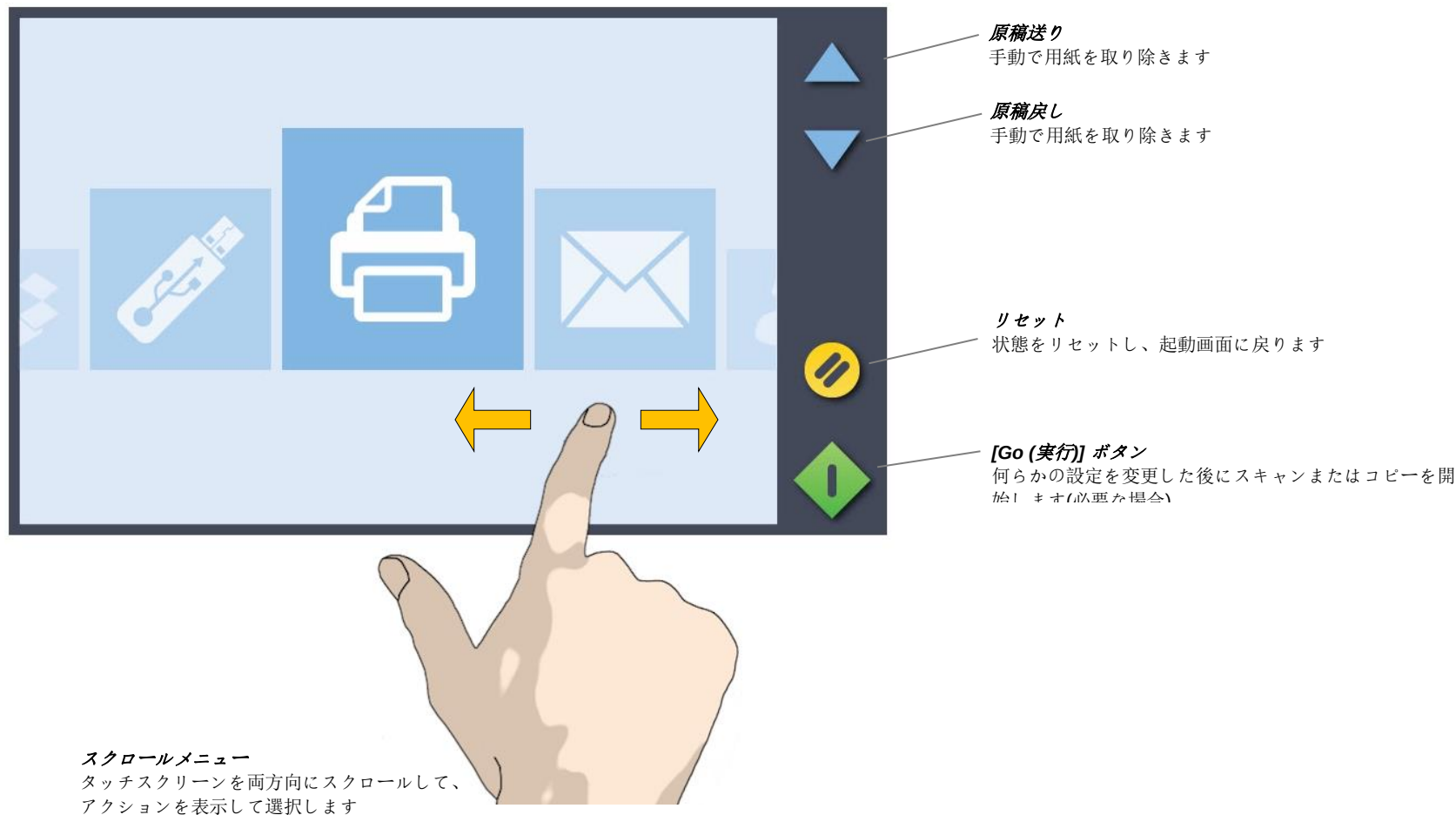
スキャナ背面図



スキャナの設定

7

タッチスクリーンインターフェース(スクロールメニュー)



スキャナの設定

8

インストール

スキャナを理解する

以下の手順に従うことにより、スキャナをすばやく簡単にインストールできます。

スキャナの設置

1

スキャナの設置

スキャナは、特別に設計された独立型フロアスタンドまたは頑丈な台に設置する必要があります。スキャナの後ろには、原稿を通して排出するのに十分なスペースを確保してください。

⚠ 重要: この段階では、スキャナを電源またはネットワーク(LAN)に接続しないでください。

⚠ このユーザーズガイドの終わりにある「安全上の注意事項」も参照してください。

スキャナの清掃

2

スキャナの給紙トレイを清掃する

スキャナの外側を軽く拭き、輸送中に付着したほこりを取り除きます。清掃は給紙トレイから始めてください。

給紙トレイとは、挿入口の前の平らな面のことです。給紙トレイをよく拭いてください。スキャナの使用を開始する際に、スキャンエリアに原稿とともにほこりが入り込まないように、給紙トレイを清掃します。



スキャナの設定

9

スキャナカバーを開く

スキャナの清掃

3

カバーの解除ボタンを押して、カバーを開く

スキャナの梱包および輸送中に内部のスキャンエリアにたまったほこりを拭き取ります。最初に、スキャナカバーの側面の奥側にある解除ボタンを使用して、スキャナカバーを開きます。

1. スキャナの前に立ちます。
2. 各解除ボタンのロックが外れるまで両方の解除ボタンを指で引き上げます。

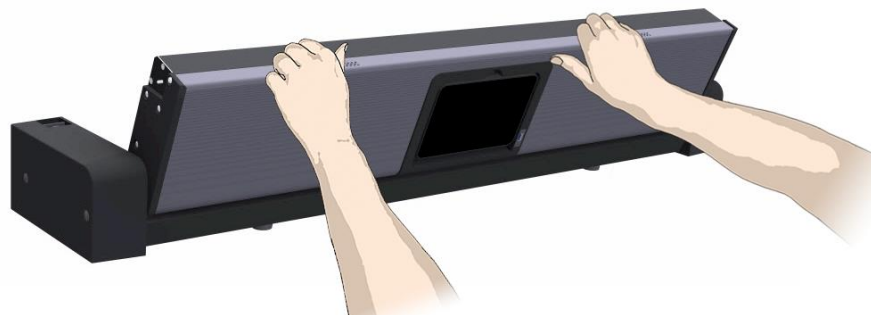


スキャナの清掃

4

スキャナカバーを開く

カバーの端を持って手前に引き上げます。スキャナカバーが止まるまで完全に開きます。



スキャンガラスを確認して清掃する

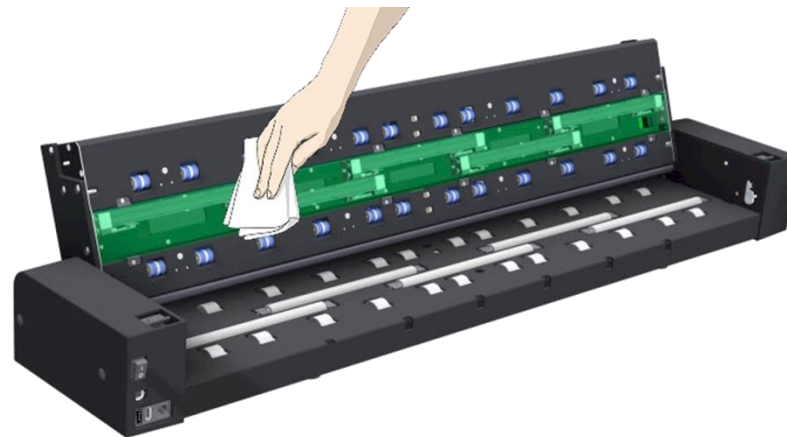
スキャナの清掃

5

内部のスキャンエリアを清掃する

糸くずの出ないきれいな乾いた布を使用して、内部のスキャンエリアのほこりを拭き取ります。

ガラスプレートに汚れが付着していて乾いた布では落ちない場合、このガイドの後半の「[スキャンエリアの清掃](#)」セクションに記載されたスキャンガラスと周辺部の清掃方法を参照してください。



カバーを閉じる

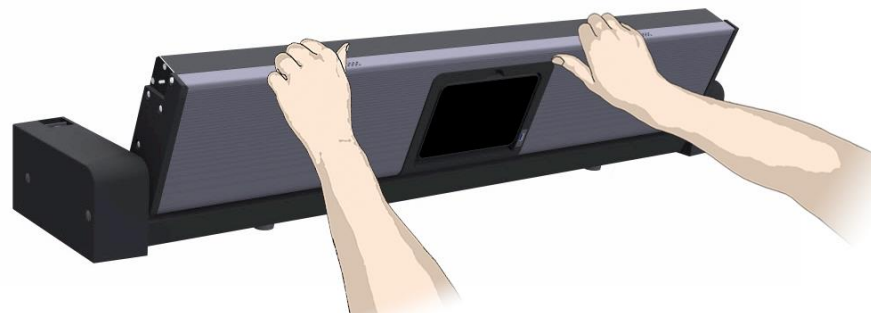
スキャナの清掃

6

スキャナカバーを閉じる

内部のスキャンエリアの清掃が完了したら、カバーを閉じます。

1. スキャナカバーの上部に手を当て、両方の解除ボタンがカチッと音がして元の位置に戻るまで押し下げます。
2. 解除ボタンから少し指を離し、カバーを軽く引き上げて、完全に閉まっていることを確認します。



スキャナに電源を接続する

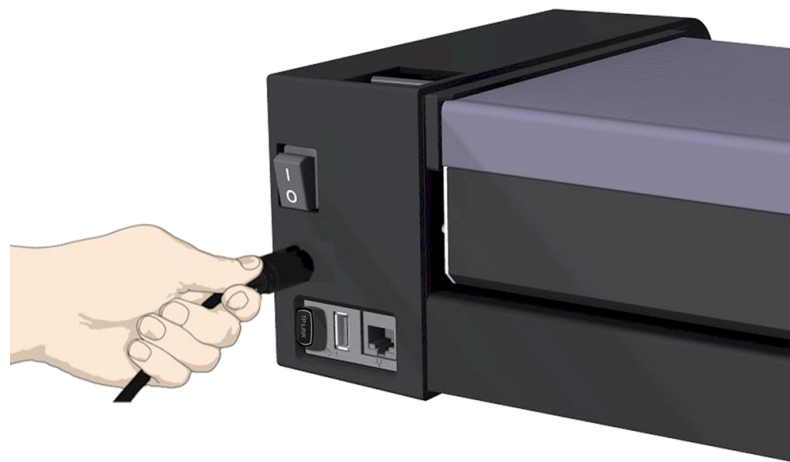
電源ケーブルの接続

7

電源コードをスキャナに接続する

電源コードをスキャナの電源接続ソケットに接続します。

コードの平らな面を上に向けて、スキャナの背面にあるソケットにプラグをゆっくり押し込みます。プラグをソケットに無理やり押し込まないように注意してください。



電源ケーブルの接続

8

電源コードを電源コンセントに接続する

スキャナの電源コードの電源プラグを適切な電源コンセントに差し込みます。

⚠ 警告: スキャナには 3 線(ピン)アース端子付きプラグが付いています。プラグがコンセントに入らない場合は、認定電気技術者に連絡してプラグまたはコンセントを交換し、電源を確実にアース接続してください。ユーザーの電気的安全性を確保するため、アース端子付きプラグの目的を無視した使い方をしないでください。



画面とネットワーク接続の準備

スキャナの清掃

9

タッチスクリーンを立ち上げる

スクリーンの上端をつかんで、垂直に立てます。



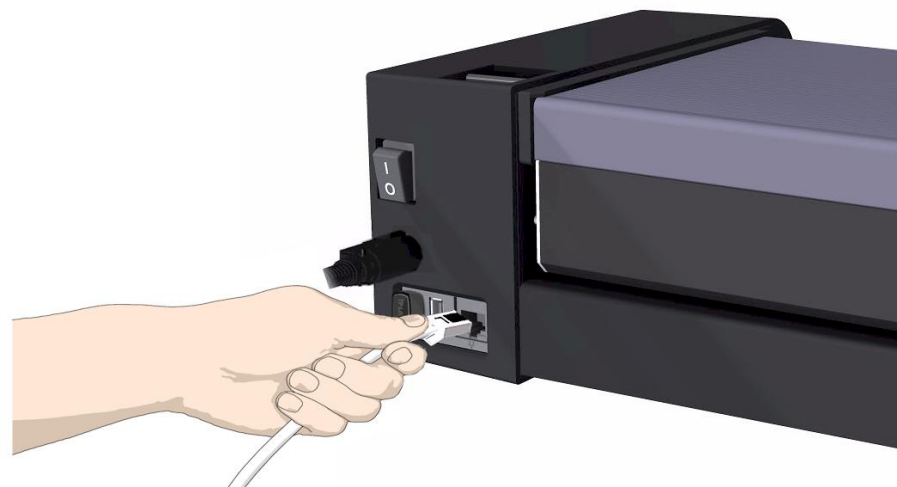
LAN ケーブルの接続

10

LAN に接続する

スキャナを LAN (ローカルエリアネットワーク) に接続します。LAN ソケットはスキャナの背面にあります。

LAN ソケットを使用してスキャナをネットワークに接続すると、ワイヤレスネットワークが自動的に無効になり、スキャナがワイヤード LAN (ネットワーク) モードに切り替わります。



取り付け中にスキャナの電源を入れる

スキャナの電源を入れる

11

初めてスキャナの電源を入れる

スキャナの背面にある主電源スイッチをオンにします。



注記: 初めてスキャナのスイッチをオンにすると、SD One MF ウィザードにより、一連の設定ページがタッチスクリーンに表示されます。

ウィザードでは以下を設定します。

ネットワーク接続(プリンタ、クラウド、およびネットワークコンピュータとの通信に使用)

言語(キーボードと画面を異なる言語に設定することもできます)

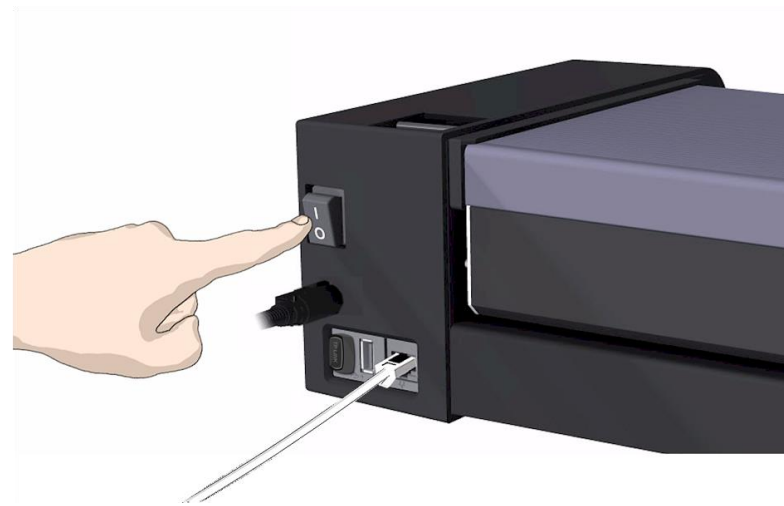
日付と時刻

電子メールサーバ設定(電子メールを介してスキャンデータを受信者に送信するための設定)

プリンタ(コピーに使用)

スキャナのライセンス認証

これらの設定を省略して後で行うこともできます。その場合は、フロント画面の[設定]アイコンをタッチして設定します。



スキャナの設定

14

インストールウィザード

スキャナのインストール

12

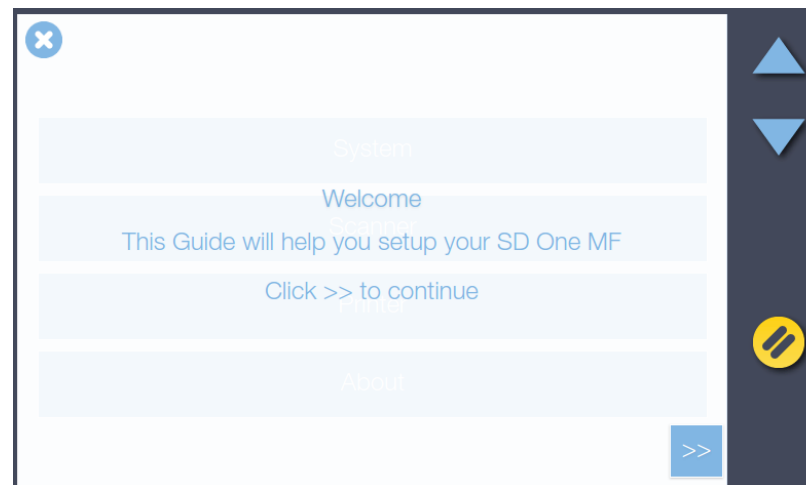
インストールウィザードが起動する

SD One MF のようこそ画面に、スキャナのインストールプロセスが始まったことが表示されます。

それ以降の画面には、スキャナの設定に必要なさまざまなインストール手順が表示されます。ウィザードが完了した後にここに戻るには、以下の[パス]に示す画面に従ってください。

次に進むには、[次へ]ボタン(>>)を押します。

前の手順に戻るには、[戻る]ボタン(<<)を使用します(表示されている場合)。



スキャナのインストール

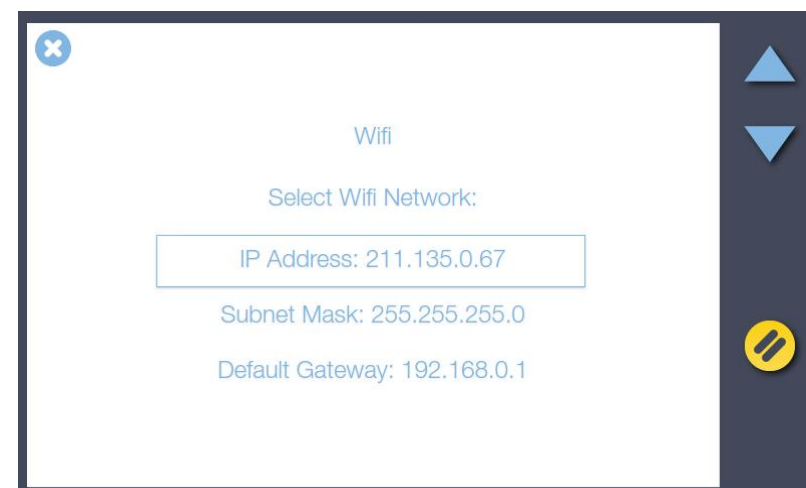
13

LAN ネットワークの設定(DHCP)

デフォルトでは、ケーブルがローカルエリアネットワーク(LAN)に接続されている場合、スキャナは DHCP を使用して自動的に IP アドレスを取得しようとします。スキャナが稼働中の LAN に接続されている場合は、Wi-Fi を介して接続することはできません。



[設定>システム>ネットワーク]



スキャナのインストール

14

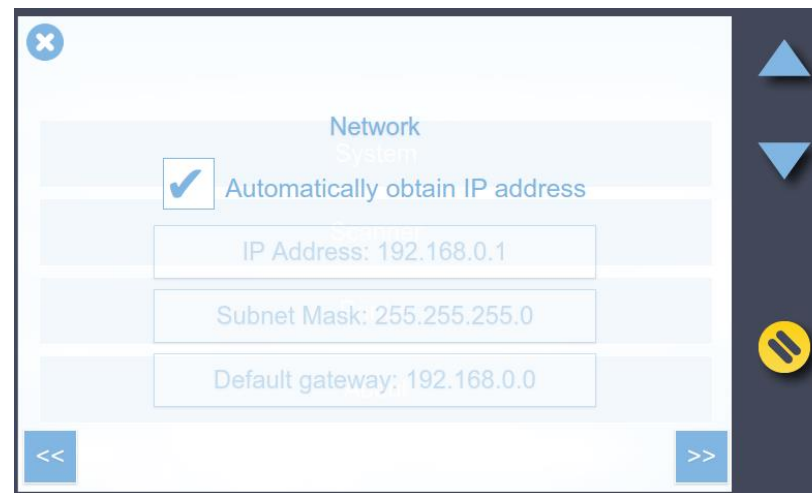
LAN ネットワークの設定(静的)

静的ネットワーク IP アドレスを手動で設定するには、以下の[パス]に示す画面に従って[IP アドレスを自動取得]のチェックボックスをオフにします。これで、静的アドレスおよびサブネットマスクを設定できます。必要であれば、IT 担当者にお問い合わせください。



[設定>システム>ネットワーク]

[次へ]ボタン(>>)を押します



スキャナのインストール

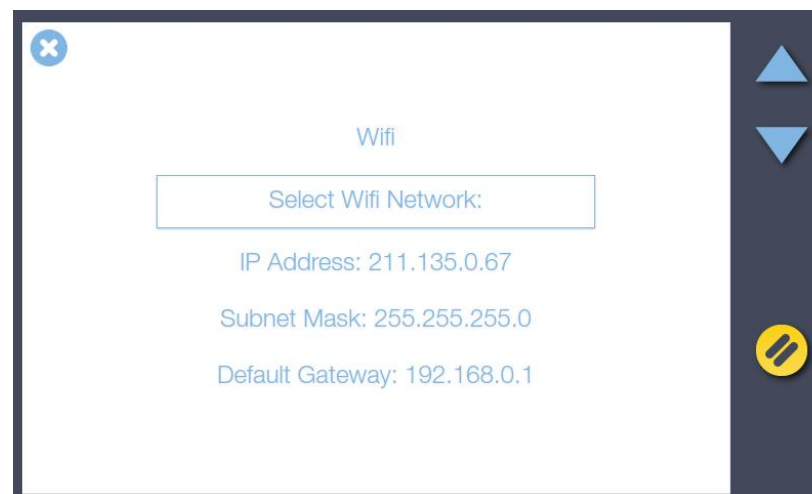
15

Wi-Fi を使用する

Wi-Fi ネットワークが範囲内にあり、物理 LAN が接続されていない場合は、強調表示された[Wifi ネットワークの選択]ボタンが自動的に表示されます。Wi-Fi を使用して接続する場合は、強調表示されているボタンをタッチします。詳細については、このマニュアルで後述する「[Wi-Fi 接続の使用](#)」を参照してください。



[設定>システム>ネットワーク]



スキャナのインストール

16

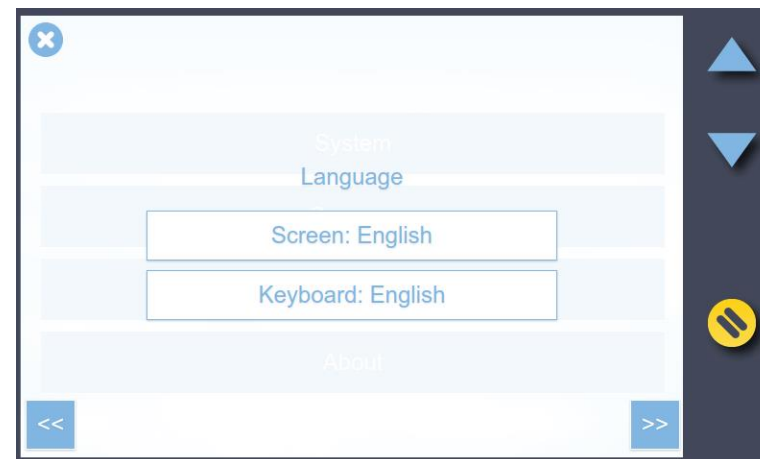
言語を選択する

画面またはキーボードに使用する言語を選択します。画面とキーボードに使用する言語は同じものにする必要はなく、異なる言語を組み合わせで選択できます。新しい言語を選択すると、現在の設定がアップデートされます。



[設定>システム>言語]

[次へ]ボタン(>>)を押します



スキャナのインストール

17

地域の日付と時刻を設定する

1. 日付を設定します。

画面上の[日付]エリアをタッチして数値タッチキーパッドを表示し、今日の日付を「dd.MM.yyyy」(日.月.西暦)の形式で入力します。**Enter**を押して、値を保存します。



[設定>システム>地域]

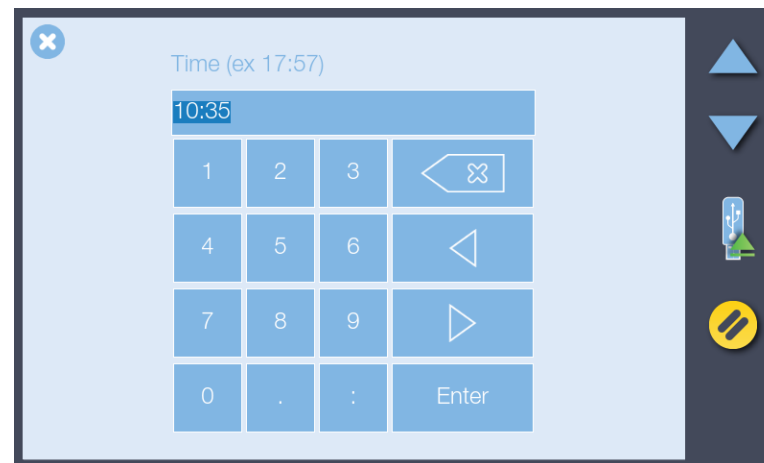
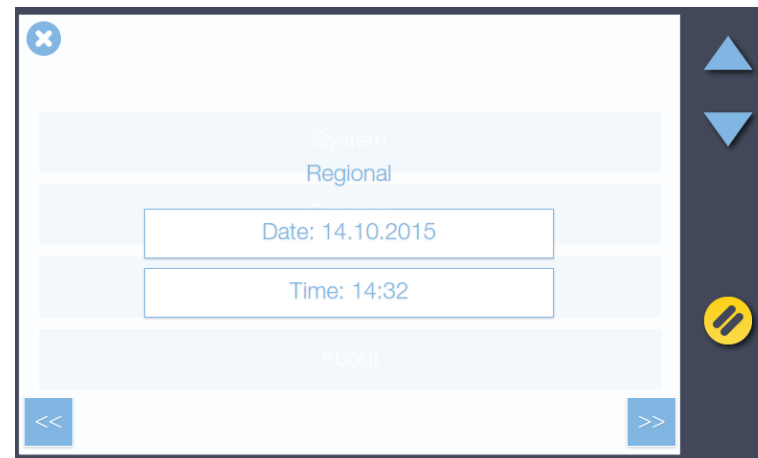
2. 時刻を設定します。

画面上の[時刻]エリアをタッチし、数値タッチキーパッドを使用して時刻を24時間形式で入力します。**Enter**を押して、値を保存します。



[設定>システム>地域]

[次へ]ボタン(>>)を押します



スキャナのインストール

18

電子メールサーバ設定の入力

電子メールを介してスキャンデータを直接送信する場合の電子メールサーバの詳細設定を入力します。

1. [ホスト] (サーバ名)、[ポート] (ポート番号)、および[接続] (セキュリティのタイプ)
2. [アカウント]および[パスワード] - 宛先の電子メールアカウント
3. [名前] - スキャンデータを受け取る相手の電子メールアカウント名
4. [最大MB] - サーバで許容される電子メールの最大サイズ(添付ファイルを含む)
5. [テスト] - ここで入力した電子メールアカウント設定を確認します。
6. [アドレス帳] - [はい]に設定すると、送られてきたすべての電子メールアドレスがアドレス帳に収集されるので、後で簡単に再選択できます。



[設定>システム>電子メール]

正しい設定がわからない場合は、IT 管理者にお問い合わせください。

インストール時はこの手順を省略し、後で必要なときに行うこともできます。

[次へ]ボタン(>>)を押します

スキャナのインストール

19a

プリンタを設定する

1. [セットアップ]を押して、コピーを取るプリンタを選択して設定します。
2. プリンタの IP アドレス(意味のある数値も許容)を入力し、スキャナでプリンタを検索できるようにします。お使いのプリンタの IP アドレス設定がわからない場合は、IT 管理者にお問い合わせください。
3. [プリンタマージンの補正]を有効にして、プリンタでは表示または印刷できない用紙の端をスキャナで認識できるようにします。これにより、印刷された原稿の未使用マージンが、コピーにそのまま反映されなくなります。
4. [メディアプロファイル]ボタンを押して、メディアプロファイルウィザードを起動します。

プリンタで使用するすべてのメディアタイプについてメディアプロファイルを作成する必要があります。メディアプロファイルにより、最適なカラーコピー結果が得られます。

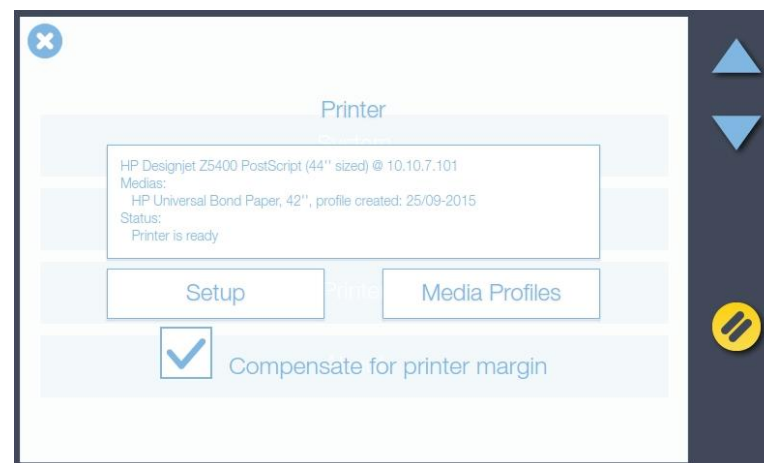
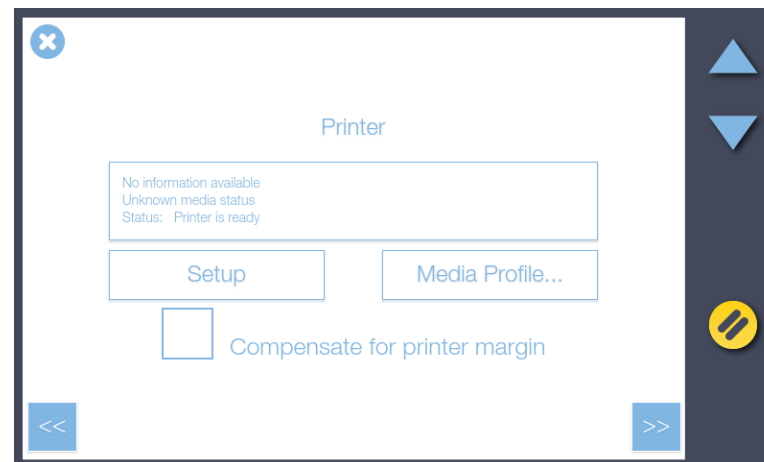
[次へ]ボタン(>>)を押します



[設定>システム>プリンタ]



注記: Epson 製プリンタの場合は、プリンタのコントロールパネルでプリンタにロードされているメディアタイプを選択してから、スキャナメディアリストに表示されるメディアの中から同じメディアタイプを選択してください。最適なコピー性能を得るには、スキャナで選択したプロファイルのメディアタイプをプリンタにロードされたメディアタイプと一致させる必要があります。



スキャナのインストール

19b

プリンタのメディアプロファイルを作成する

手順 1

[プリンタ]画面(前のページ)の[メディアプロファイル]を押して、プリンタにロードされている現在のメディアタイプを選択します(この例では[普通紙])。

手順 2

ここで、[印刷]ボタンを押して、カラーキャリブレーションページを印刷します。この操作でプリンタが正常に機能していることが重要です。

手順 3

黒の矢印をスキャナの中央のロード位置に合わせて注意しながら、印刷したカラーキャリブレーションページをスキャンに取り込みます。ここで、[スキャン]ボタンを押して、印刷したカラーキャリブレーションページをスキャンします。



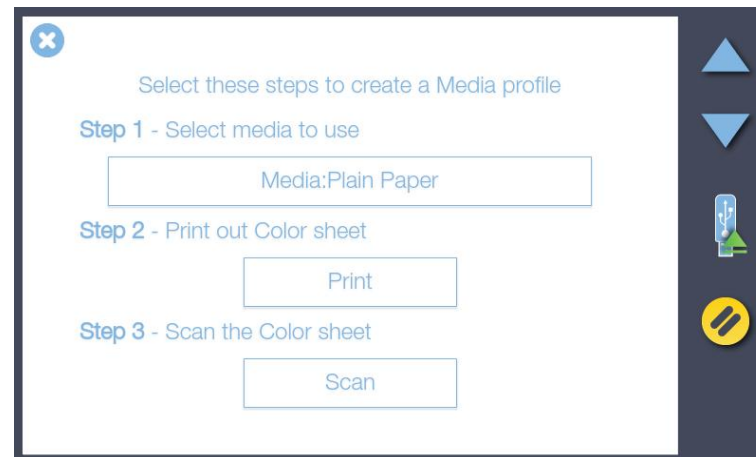
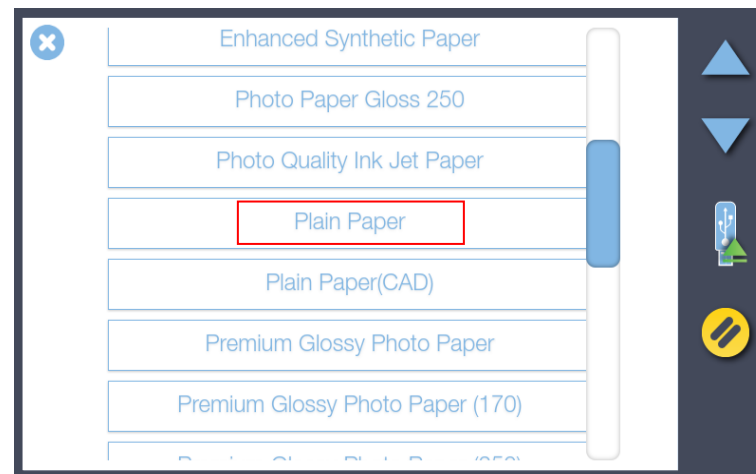
手順 4

[Media Profile Created (メディアプロファイルが作成されました)]というメッセージが表示されたら、[OK]を押します。

コピー先のプリンタで使用する用紙の種類ごとに新しいプロファイルを作成します。



注記: キャリブレーションページが見つからないことがスキャナから通知された場合は、キャリブレーションページをリロードして[スキャン]ボタンをもう一度押し、このプロセスを繰り返します。



スキャナの設定

21

スキャナのライセンス認証

スキャナのインストール

20

製品改善プログラムに参加する

今後のアップデートによるシステムの改善にご協力ください。[製品改善プログラム] オプションを選択した場合は、スキャナ性能に関するデータの収集に同意されたものとします。個人の連絡先情報は収集いたしません。

[次へ]ボタン(>>)を押します



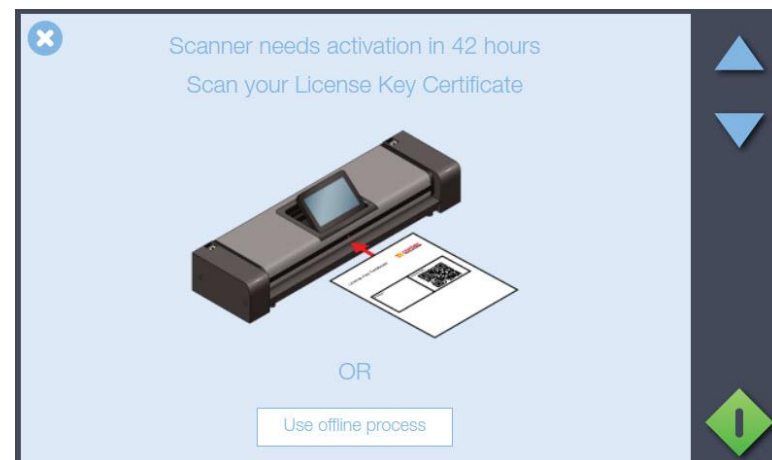
スキャナのライセンス認証

21a

スキャナのライセンス認証を行う

このスキャナを使用するには、まずライセンスキーを使用して認証する必要があります。これは、スキャナのネットワーク接続を使用すると簡単に行うことができます。

1. スキャナがネットワークに接続されていることを確認します。
2. ライセンス認証シートを手元に用意します。ライセンスキーは QR コードに埋め込まれており、スキャナによって読み込まれます。
3. シートをスキャナにロードしてスキャンボタン  を押し、スキャナのライセンス認証を行います。
4. ライセンス認証シートでスキャナをライセンス認証できなかった場合は、オフラインオプションを使用して手動でライセンスキーを入力してください。



スキャナのライセンス認証 - 手動

21b

オフラインでのスキャナのライセンス認証を行う

スキャナがネットワークを介してインターネットに直接接続されていない場合は、手動でスキャナのライセンス認証を行うことができます。インターネットに接続できる別のデバイスまたはコンピュータが必要になります。

1. ライセンスキーを用意してから、処理を続けてください。ライセンスキーをお持ちでない場合は、販売代理店に問い合わせてください。
2. 手動のライセンス認証では、販売代理店からのライセンスキーとスキャナのハードウェア ID を使用して、オンラインの Web インタフェースで認証コードを生成します。
3. インターネットデバイスのブラウザを使用して、以下の手順に従います。

(インターネット デバイス側での手順)

www.licenseactivate.com を参照します。

#1 スキャナのシリアル番号またはハードウェア ID キーを入力します。

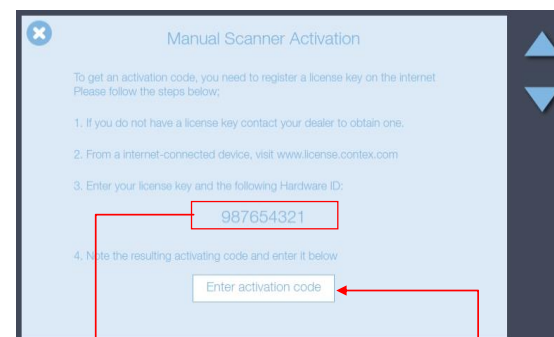
#2 ライセンス キーを入力します。

#3 [認証] ボタンを押して認証コードを生成し、そのコードを書き留めておきます。

(スキャナ側での手順)

#4 [手動でのスキャナのライセンス認証] 画面にあるボックスに認証コードを入力したら、[OK]を押します。

スキャナシステムのライセンス認証が行われます



License Activation

Choose language

Please complete the form below

Activation Information

(*) marks required fields

Serial Number or Hardware ID: #1

License Key: #2

Contact Information

Company Name

First Name

Last Name

Email

City

Postal Code

Country: Please select

State: Please select

☒ I would like to receive product news and technical information

☐ Click here to help us learn more about your needs

[Privacy Policy Statement](#)

Activate #3

Support

[Need to deactivate your scanner?](#)

[Replaced board in your scanner?](#)

License Activation

✓ Activation Code Generated

Activation Code Information

Serial Number: AADB-4AWB-CSAB-WAAY-SABF-EANA

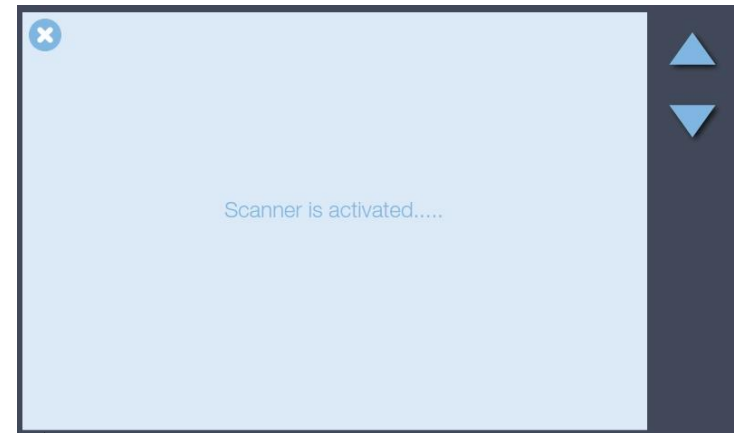
Activation Code: ACSM8P-JZM6NF-V9P2X5-DRPJUB-2T3J3L-ERLTKQ #4

スキャナのインストールとライセンス認証

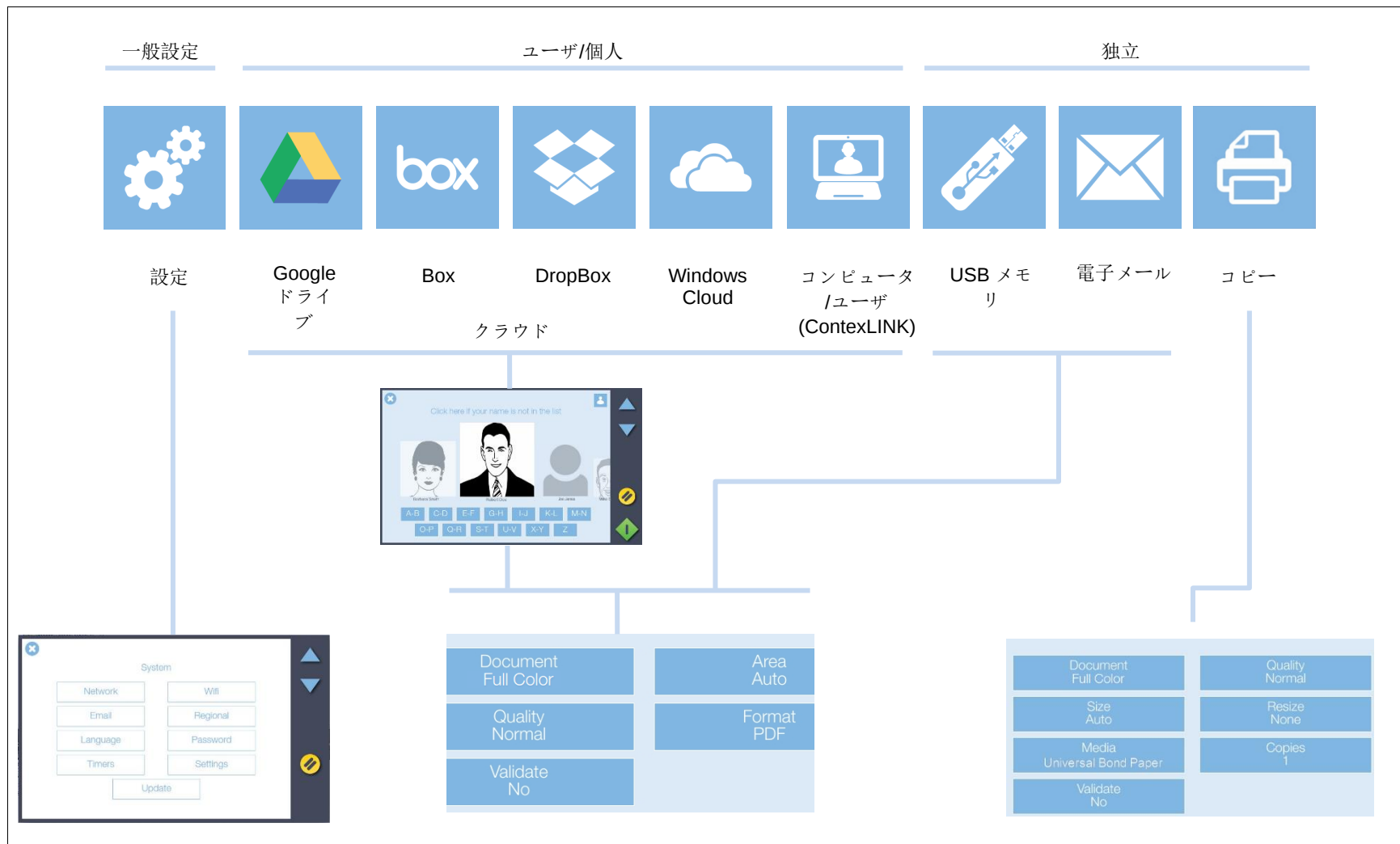
22

インストールとライセンス認証が完了しました

スキャナが正しくインストールされると、[スキャナは認証されています]というメッセージがしばらくの間画面に表示された後、さまざまなスキャナオプションが表示される通常の起動画面に切り替わります。



画面の概要

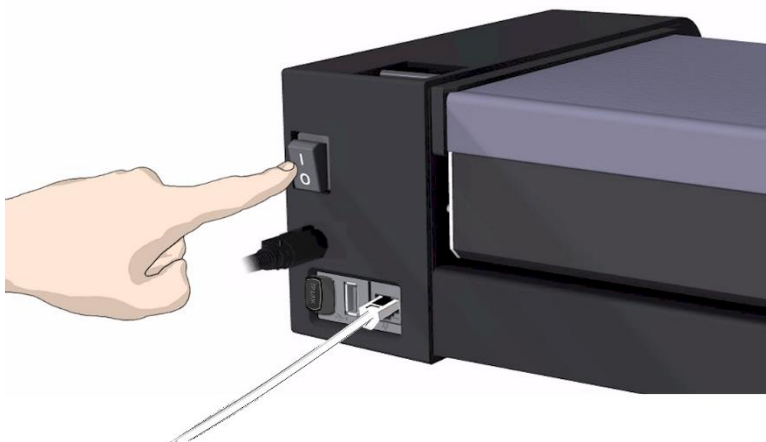


スキャナの電源を入れる/切る

主電源スイッチ

主電源スイッチはスキャナの背面にあります。

- スイッチの上側("I"と書かれている側)を押すと、主電源がオンになります。
- スイッチの下側("O"と書かれている側)を押すと、主電源がオフになります。



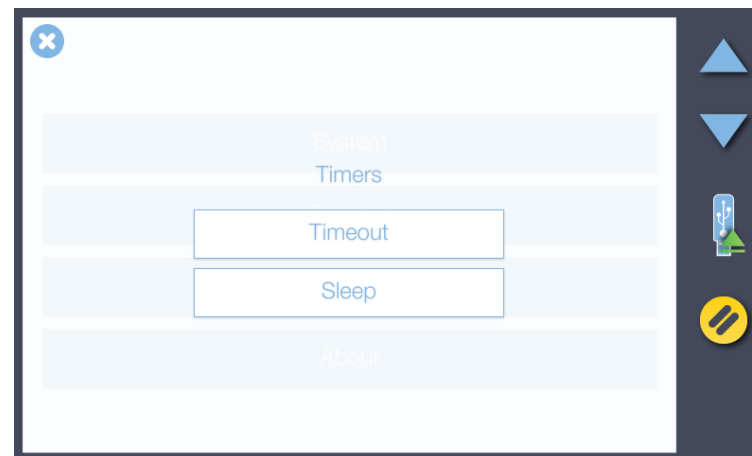
スリープモード

スリープモードは省電力モードです。スリープモードでは、スキャンを行うことはできません。スキャナに初めて電源を投入した時点では、事前に設定された非アクティブ時間(待機時間)が経過したときに自動的にスリープモードに移行するように設定されています。この非アクティブ時間は、通常のワークフローに合わせて増減できます。

1. スクロールして[設定]ボタン  を選択します。
2. [システム]、[タイマー]の順に選択します。
3. [スリープ]ボタンを押して待機時間を設定します。



注記: スキャナの主電源はオンになっているが、スリープモードである場合は、原稿を挿入するとスキャナが起動します。



注記: [タイムアウト]は、パワーセーブ機能ではありません。[タイムアウト]は、次のユーザのために、画質、ファイル形式、カラーモード、お

よびスキャンエリアについてのスキャナ設定がデフォルト設定に戻るまでの設定可能な制限時間です。

原稿の位置

スキャンする面を上にして原稿をスキャナの中央に合わせる

1. 原稿は、印刷面を上に向けて挿入します。
2. 原稿の中央をスキャナの給紙トレイの上にある三角矢印に合わせます。
3. 原稿を挿入口からローラーに当たる位置まで差し込みます。
4. 原稿がスキャナに引き込まれ、自動的にスキャンを開始する位置まで移動します。

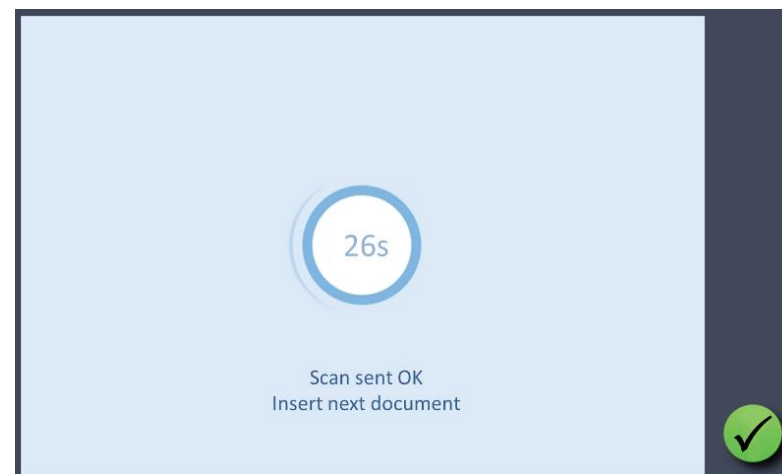


5. 原稿の印刷面を上に向けて挿入します。原稿を両手で持ち、原稿の中央をスキャナの中央のマークに合わせます。

1枚または複数の原稿のスキャン

「準備完了」状態のスキャンシステムを使用する

1. すべて同じスキャン設定を必要とする類似の原稿が複数ある場合は、緑のボタンをタッチしなくても、それらの原稿を連続してスキャナにロードできます。
2. スキャナが「準備完了」モードで稼働し続けるように、カウンタがゼロになる前に次の原稿を挿入します。
3. 以下の場合に緑のボタンをタッチします。
 - すべての原稿が完了した場合
 - スキャンを1回だけ行う場合
 - スキャン設定を変更する場合



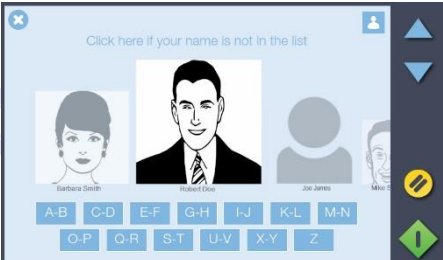
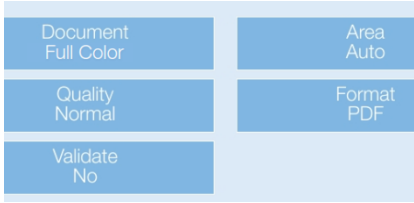
4. スキャナは以下の場合にトップメニューに戻ります。
 - 緑のボタンを早めにタッチした場合
 - 残り時間がゼロに達した場合

スキャンしてファイルに保存

基本的な手順

SD One MF を使用すると簡単にスキャンできます。USB メモリスティック、電子メールアカウント、お使いの PC、個人のクラウドサービスにもスキャンデータを保存できます。

ここでは、スキャンの設定方法と送信方法について説明します。

1  原稿を挿入する スキャンする面を上にして原稿をスキャナの中央に合わせます。 「原稿を挿入する」セクションを参照してください。	2  スキャンデータの保存先を選択する USB メモリスティック、電子メールアカウント、お使いの PC、個人のクラウドサービスにもスキャンデータを保存できます。 「スキャンデータの保存先」セクションを参照してください。	3  ユーザを選択して PIN*を入力する この手順は、PC またはクラウドサービスにスキャンする場合のみ必要になります。このリストには、PC にインストールされたスキャンクライアントを保有するすべてのユーザが表示されます。 *PIN は、Context LINK のユーザによって設定される場合のみ必要になります。 「Context LINK スキャンクライアント」セクションを参照してください。	4  スキャン設定を選択する 原稿のタイプ、スキャン品質、ファイル形式を選択するか、または緑のボタンを押して単にデフォルトの設定を使用します。 詳細については、このセクションを参照してください。	5  ボタンを押す 緑のボタンを押してスキャンを開始します。
--	--	---	--	--

スキャンデータの保存先

スキャンデータの保存先は、独立したものにするか、またはスキャナの画面で選択した特定のユーザーに関連付けることができます。以下のスキャンデータの保存先を使用できます。

独立したスキャンの保存先 – USB、電子メール

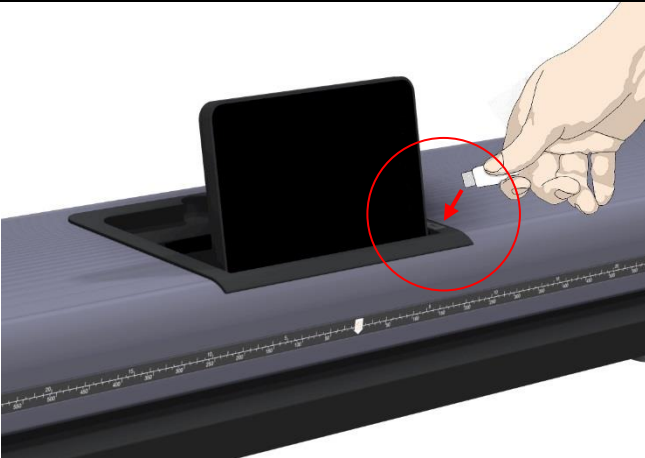


スキャンして USB に保存

スキャンファイルを USB メモリスティックに保存します。

1. USB スティックをスキャナ上部にある USB スロットに差し込みます。
2. スクロールメニューで USB メモリスティックのオプションを選択します。
3. 設定を選択して、スキャンボタンを押します。メモリスティックに保存する場合、常に DCIM フォルダがデフォルトの場所になります。
4. スキャンの後は、必ず USB のセーフジェクトボタン(画面に表示されている場合)を必ずタッチしてメモリスティックを取り出してください。







スキャンして電子メール送信

スキャンデータを任意の電子メールアドレス宛てに送信します。

1. 電子メールオプションを押します。
2. オンスクリーンキーボードを使用して、宛先の電子メールアドレスを入力します。
3. 設定を選択して、スキャンボタンを押します。

 **注記:** このオプションを使用する前に、スキャナの送信電子メールアカウントを設定してください。 [「インストール - 電子メールサーバ設定の入力」](#) セクションを参照してください。



ユーザおよび個人のスキャンデータの保存先 – PC およびクラウドサービス

以下の保存先を使用する場合は、**Context LINK**  クライアントソフトウェアをインストールし、PC で正しく設定する必要があります。PC とスキャナは同じネットワーク(LAN)上にある必要があります。

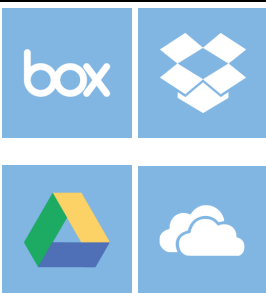
PC に Context LINK クライアントソフトウェアをインストールして設定すると、スキャナにより LAN 上の PC が検出され、スキャナのユーザリストに追加されます。Context LINK クライアントにより、クライアントを介して接続した PC およびクラウドサービスにスキャンデータを簡単に保存できます。また、他のユーザの PC またはクラウドサービスにスキャンデータを保存することもできます(そのユーザの PIN コードがわかっている場合)。これは、プロジェクト時のスキャンデータの共有に特に役立ちます。

 **注記:** Context LINK およびクラウドサービスの接続の設定についての詳細は、「[Context-LINK スキャンクライアント](#)」セクションを参照してください。



スキャンして PC に保存

1. スキャナで、ユーザアイコンを選択し、リストから自分自身または他のユーザを選択します。
2. PIN コードの入力を求められたら入力します(注記: *PIN は、Context LINK のユーザによって設定される場合があります)。
3. スキャンの設定を行い、スキャンします。
4. PC にあるスキャンデータを探すには:
 - a. PC で、システムトレイにある Context LINK アイコンを押し、Context LINK スキャンクライアントを開きます
 - b. Context LINK スキャンクライアントインターフェースの上部にあるフォルダアイコンを選択し、PC/ユーザに送信するスキャンデータを検索します

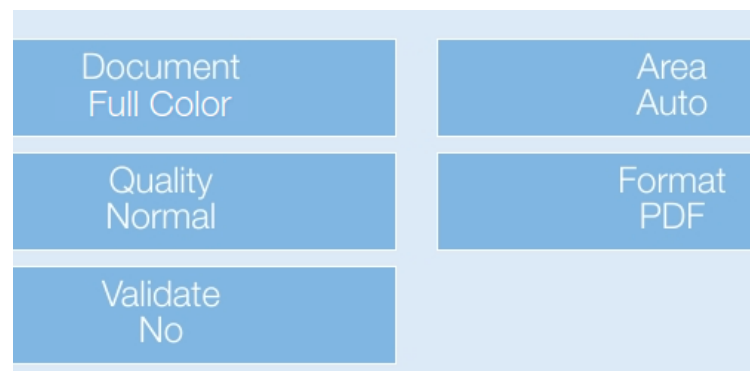


スキャンしてクラウドサービスに保存 – Box、Dropbox、Google ドライブ、OneDrive

1. スキャナの画面で、スクロールして対象のクラウドサービスオプションを選択します。
2. リストから対象のユーザを選択します。
3. PIN コードの入力を求められたら入力します(注記: *PIN は、Context LINK のユーザによって設定される場合があります)。
4. スキャンの設定を行い、スキャンします。
5. 選択したクラウドサービスのローカルまたはオンラインのフォルダからスキャンデータを探します。
デフォルトでは、スキャンデータは「Context Solutions」という名前のフォルダになります。Dropbox では、このフォルダは「Apps」フォルダ内に作られ、その他すべてのクラウドでは、ルートフォルダ内に作られます。

スキャンしてファイルに保存の設定

設定	説明
原稿	スキャンする原稿のタイプ フルカラー カラー写真、ポスターなど グレースケール モノクロ写真またはグレーの陰影があるイメージ カラーCAD/GIS カラーの線画または地図 グレースケール モノクロの線画または地図 CAD/GIS
画質	スキャン解像度を決定します 高速 高速の場合は低解像度です。 標準 一般的なタスクには中解像度が適しています。 高品質 最良の品質を求める場合は高解像度が適しています。ただし、低速でスキャンします。
面積	スキャナのキャプチャ領域を決定します 自動 スキャナによりサイズが自動的に検出されます。 全て スキャナの最大幅でスキャンします。
形式	出力ファイルの種類: TIF、JPG、PDF、PDF/A
検証	検証のためのスキャンプレビューを表示し、ファイルに保存する前に多少編集を加えます はい プレビューを表示します。 いいえ プレビューを表示しません。 A. SELECT – 検証エンティティを選択します。 B. CROP – 緑のボーダーをドラッグし、緑のボタンを押して保存します。 C. DRAW – フリーハンドの線とマークアップを追加します。 D. TEXT – イメージにテキストを追加します。



変更メニュー: 原稿のカラー、スキャンエリア、スキャン品質、ファイル形式、およびスキャン検証オプション。



原稿をスキャンしファイルに保存するための[フルカラー] (上図で選択)、[白黒グレースケール]、[カラーCAD/GIS]、および[白黒グレースケール CAD/GIS]オプション。

スキャンの検証

スキャンのプレビュー、トリミング、および注釈付けを行う

検証では、ドキュメントがファイルに送信される前に、そのプレビューが表示されます。この画面で、スキャンしたイメージのトリミングを行ったり、イメージにフリーハンドで線やテキストを追加したりします。



画面上のドキュメントに注釈を加えたものをファイルに保存します



スキャンをキャンセルします



変更または削除するテキストやフリーハンドの線を選択します



トリミングラインの外側にあるイメージデータを削除します



フリーハンドの線をスキャンしたイメージに追加します



スキャンしたイメージにテキストを追加します

編集制御を有効にします(注釈を選択すると表示されます)



線を太くし
ます

線を細くし
ます

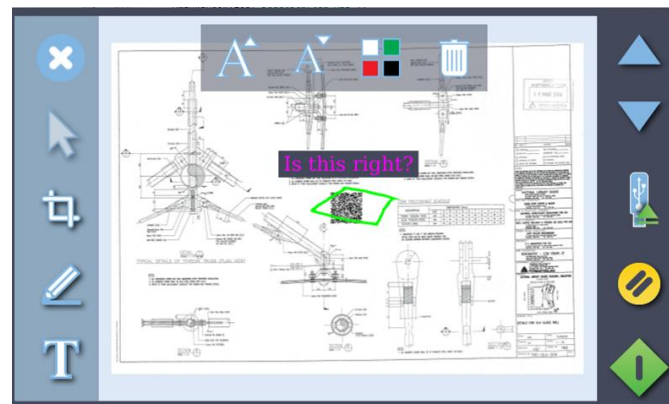
フォント
サイズを
大きくし
ます

フォント
サイズを
小さくし
ます

テキストま
たはカラー
を変更しま
す

削除

スキャン検証画面－選択したフリーハンドの線を変更

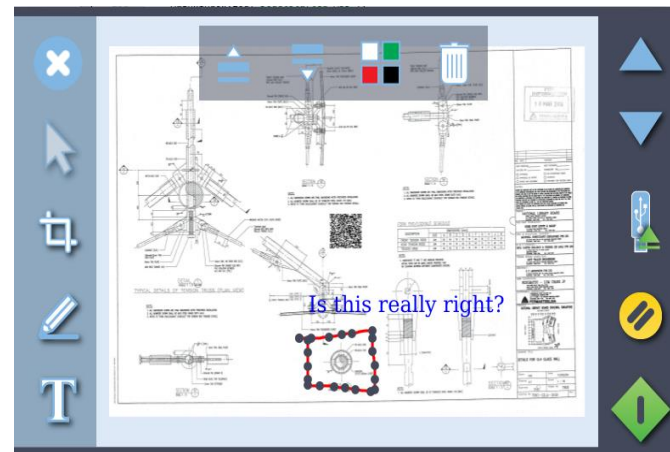


スキャン

32



注記: 緑のボタンを押すと、検証の編集内容がスキャンファイルに完全に保存されます。検証画面を閉じてしまうと変更内容を無効にすることはできません。



スキャン検証画面－選択したテキスト注釈を変更

Contex LINK スキャンクライアントソフトウェア

Contex LINK スキャンクライアントを使用すると、1 台のスキャナをユーザグループで簡単に共有できます。ユーザは、個人のプロフィールを作成して、独自のファイルの保存先に保存したり、自分の好みに合わせてスキャナの使い方を変更したりすることができます。

Contex LINK は、ユーザの PC にインストールするシンプルなクライアントソフトウェアアプリケーションです。これを設定すると、スキャナは PC クライアントを探し、ユーザの PC や、ユーザが接続する Box、Dropbox、Google ドライブ、OneDrive などのクラウドアカウントへのすべての接続に対処できます。

1

Contex LINK をインストールする

スキャナ側での手順

1. スキャナのネットワーク IP アドレスを探します:  -> [バージョン情報]

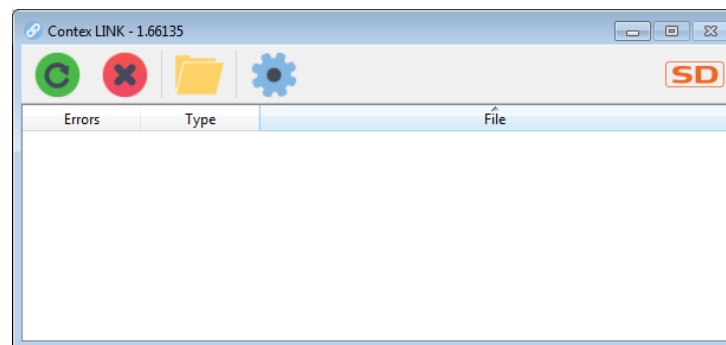
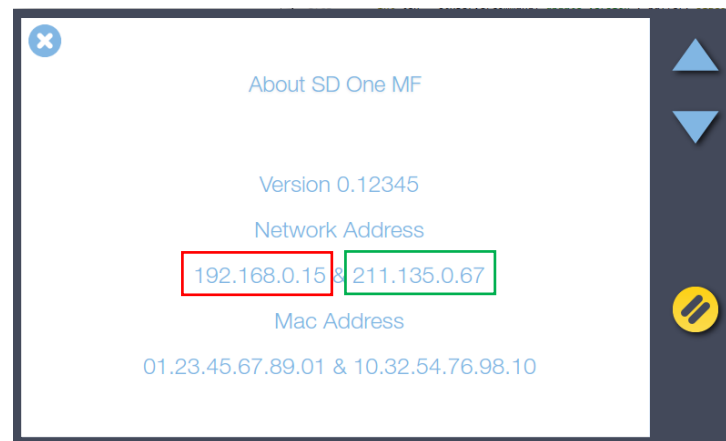
ワイヤード LAN IP アドレス

ワイヤレス Wi-Fi IP アドレス

コンピュータ側での手順:

インターネットブラウザを使用して、スキャナまたはインターネットから Contex LINK ソフトウェアをダウンロードします。

1. <http://<スキャナの IP アドレス>>または <http://www.contex.com/LINK> に移動します。
2. ソフトウェアをインストールします。
3. PC プログラムおよびシステムトレイエリアに Contex LINK アイコンが表示されます。
4. アイコンをクリックしてプログラムを開きます。



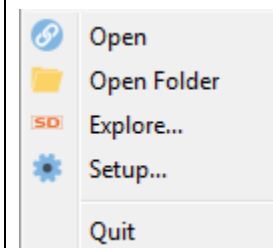
2

スキャンをクラウドサービスに接続する

1. PC で Context LINK を起動し、[セットアップ]アイコンを押します。
2. 名前と電子メールアドレスを入力します。
3. スキャナで認証を行う場合は、選択した個人の PIN コードを入力します(オプション)。
4. 設定する言語を選択します。
5. 個人のクラウドサービスに接続します。
 - a. 対象のアイコン(Dropbox アイコンなど)を押して、クラウドサービスを選択します。
 - b. サービスの認証画面が表示されます。
 - c. クラウドサービスアカウントを認証するための資格情報を入力し、スキャナとクラウドサービスの間の接続を作成します。
 - d. 登録するその他のクラウドサービスについてこれらの手順を繰り返します。
 - e. 接続設定が保存され、以降のすべてのスキャンに適用されます。



ContextLINK の PC の画面



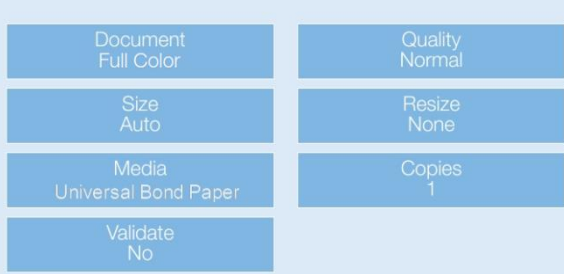
ContextLINK の右クリックメニュー

コピー

コピーを取る

基本的な手順

SD One MF を使用すると簡単にコピーを取ることができます。ここでは、コピーを取る方法について説明します。

1 	2 	3 	4 
原稿を挿入する 原稿の印刷面を上に向け、中央に揃えてスキャナの中央部から挿入します。 「原稿を挿入する」セクションを参照してください。	[コピー]オプションを選択する コピーを取る場合は、使用するメディアのプリンタおよびメディアプロファイルをスキャナの設定で設定する必要があります。 「インストール - プリンタを設定する」セクションを参照してください。	コピー設定を選択する 原稿のタイプ、スキャン品質、ファイル形式を選択するか、または緑のボタンを押して単純にデフォルトの設定を使用します。 詳細については、このセクションを参照してください。	ボタンを押す 緑のボタンを押してコピーを開始します。

コピー設定

設定	説明
原稿	コピーする原稿のタイプ フルカラー カラー写真、ポスターなど 白黒グレースケール モノクロ写真またはグレーの陰影があるイメージ カラーCAD/GIS カラーの線画または地図 白黒グレースケール CAD/GIS モノクロの線画または地図
画質	コピーの出力品質を決定します 高速 高速の場合はドラフト品質です。 標準 一般的なタスクには中程度の品質が適しています。 高品質 最良の品質が得られます。コピーに時間がかかります。
サイズ	スキャナのキャプチャ領域を決定します 自動 原稿のサイズの自動認識 全て スキャナの最大幅を取り込みます
メディア	出力ファイルの種類 プリンタにあるメディア。使用するメディアに合うオプションがない場合は、メディアプロファイルを作成する必要があります。「インストール - プリンタのメディアプロファイルの設定」を参照してください。
サイズ変更	印刷される出力のサイズ なし サイズ変更をしない - 1:1のコピーを作成します 用紙 標準用紙サイズを選択します(ANSI、ISO) 拡大/縮小 倍率を入力します(50%など)
部数	出力するコピーの部数 数値を選択します
検証	検証のためのプレビューを表示し、コピーに多少編集を加えます はい プレビューを表示します いいえ プレビューを表示しません SELECT - 検証エンティティを選択します。 CROP - 緑のボーダーをドラッグし、緑のボタンを押して保存します。 DRAW - フリーハンドの線とマークアップを追加します。 TEXT - イメージにテキストを追加します。



変更メニュー: 原稿のカラー、コピー品質、コピーサイズ、サイズ変更オプション、メディアタイプ、部数、およびコピーの検証オプション。



原稿をコピーするための[フルカラー](上図で選択)、[白黒グレースケール]、[カラーCAD/GIS]、および[白黒グレースケール CAD/GIS]オプション。

コピーの検証

コピーのプレビュー、トリミング、および注釈付けを行う

検証では、コピーしたドキュメントがプリンタに送信される前に、そのプレビューが表示されます。この画面で、コピーイメージのトリミングを行ったり、イメージにフリーハンドで線やテキストを追加したりします。



画面上のコピーに注釈を加えたものを印刷します



コピーをキャンセルします



変更または削除するテキストやフリーハンドの線を選択します



トリミングラインの外側にあるイメージデータを削除します



フリーハンドの線をスキャンしたイメージに追加します



コピーイメージにテキストを追加します

編集制御を有効にします(注釈を選択すると表示されます)



線を太くし
ます

線を細くし
ます

フォント
サイズを
大きくし
ます

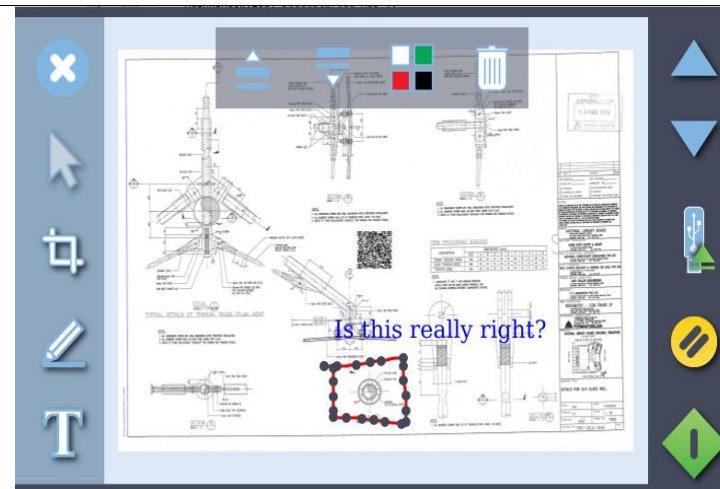
フォント
サイズを
小さくし
ます

テキストま
たはカラー
を変更しま
す

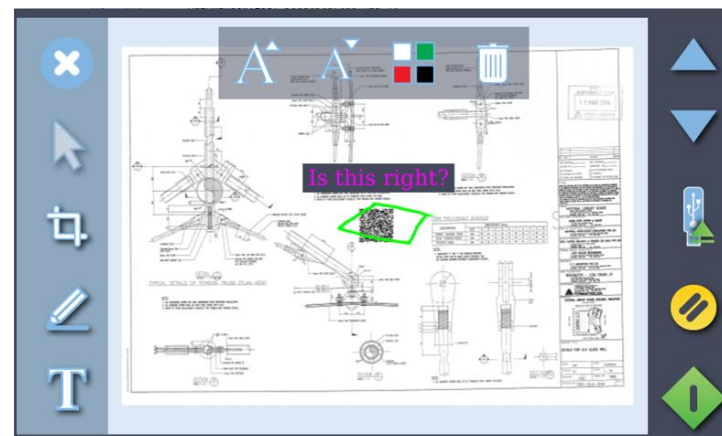
削除



注記: 緑のボタンを押すと、検証の編集内容がコピーイメージに完全に保存されます。検証画面を閉じてしまうと変更内容を無効にすることはできません。



スキャン検証画面－選択したフリーハンドの線を変更



スキャン検証画面－選択したテキスト注釈を変更

Wi-Fi 接続の使用

38

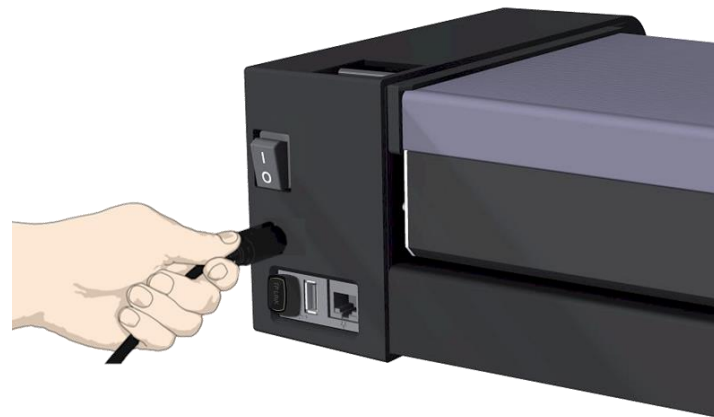
Wi-Fi の設定 – ワイヤレスネットワークを使用するためのスキヤナの設定

ワイヤレスルータの電波が届く範囲内にあり、ワイヤード LAN イーサネット接続が解除されていることを初めに確認してください。電源接続のプラグを差し込み、スキヤナのスイッチをオンにします。

タッチ画面から[設定]を選択し、次に[システム]、[Wi-Fi]の順に選択します。



注記: ワイヤードからワイヤレスのネットワーク操作に変更するときは、スキヤナの電源を切る必要はありません。

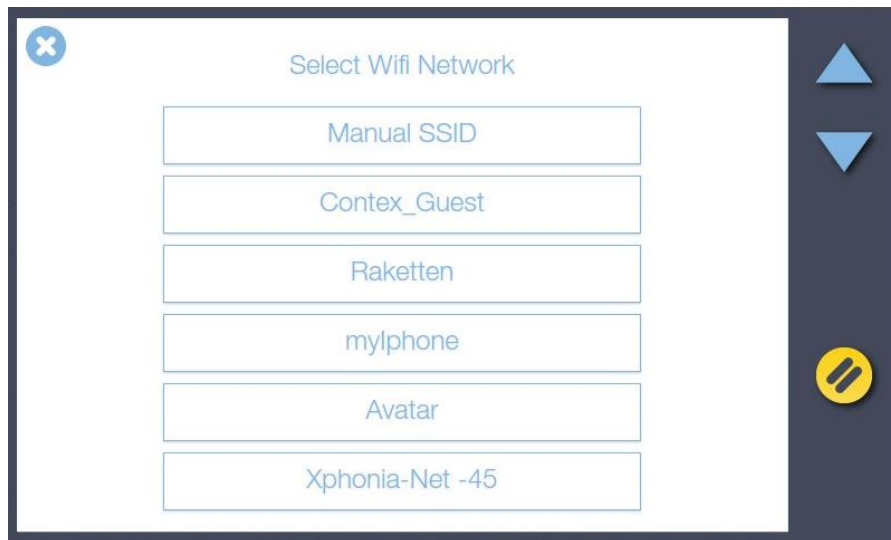


Wi-Fi 接続の使用

39

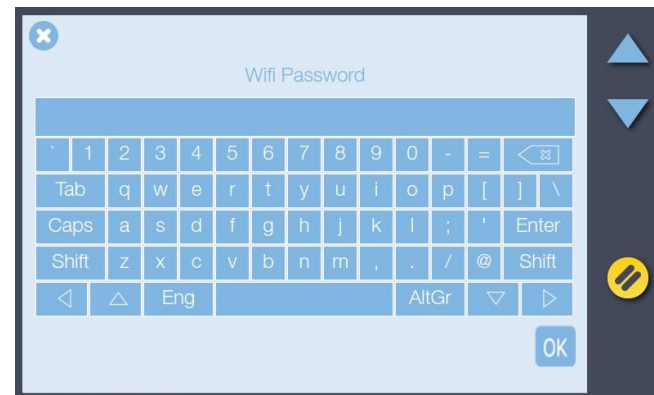
Wi-Fi の設定 – ワイヤレスルータへの接続

スキャナには、スキャナの無線電波が届く範囲にあるワイヤレスネットワークが表示されます。接続するワイヤレスネットワークを選択します。



SSID (サービスセット ID)はわかっているが表示されていない非表示のネットワークについては、**[手動での SSID]**オプションを使用して手動で SSID を入力できます。

パスワードを使用して、ワイヤレスネットワークへの許可されていないスキャナ接続を阻止できます。このオプションを使用しない場合は、パスワード行を空のままにして**[OK]**を押します。



Wi-Fi パスワード画面



[手動での SSID]入力画面

基本設定と環境設定



SD One MF には、スキャナを自身の特定のニーズに応じて設定するためのさまざまな設定オプションが用意されています。[\[設定\]](#)アイコンを押すと、使用可能なオプションが表示されます。使用可能な設定は、[\[システム\]](#)設定、[\[スキャナ\]](#)設定、[\[プリンタ\]](#)設定、および[\[バージョン情報\]](#)に分類されています。

オプショングループ	オプション	
システム	ネットワーク	LAN 設定 - ローカルネットワークにスキャンシステムを追加します。自動接続の場合は DHCP を選択します(推奨)。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。「 インストール - ネットワーク設定を入力する 」も参照してください。スキャナの IP アドレスもここで確認できます。
	領域	地域の日付、時刻、メートル法(インチまたは mm)、および用紙の一覧(ANSI、ISO、ISO B、ARCH)を設定します。
	パスワード	パスワードを設定して、スキャナへのアクセスをコントロールできます。パスワード保護が不要な場合は、空のままにしてください。
	設定	現在の設定をスキャナの新しいデフォルト設定として保存するか(現在の値を保存)、または工場出荷時のデフォルトにリセットします([デフォルトにリセット])。
	電子メール	電子メールの保存先にスキャンデータを送信するための送信電子メールサーバを設定します。設定の一部と設定の必要性は、使用するシステムのサーバ設定により異なります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。「 インストール - 電子メールサーバ設定の入力 」も参照してください。
	言語	画面およびキーボードに使用する言語を選択します。これらは同じ言語にする必要はありません。
	タイマー	[タイムアウト]に指定した時間スキャナで待機状態が続くと、次のユーザが使用できるように、スキャナの設定がデフォルト設定にリセットされます。[スリープ]に指定した時間スキャナで待機状態が続くと、スリープモードに移行します。
スキャナ	アップデート	システムソフトウェアを最新のバージョンにアップデートします。最新のバージョンが検索され、可能な場合はインターネットを介してインストールされます。
	補正	スキャナ補正ウィザードを起動します。手順および詳細については、「 メンテナンス - スキャナの補正 」セクションを参照してください。
	用紙処理	Eject Back (後方に排出)、Eject Front (前方に排出) - スキャン後、原稿を後方または前方に排出します。
プリンタ	サービス	サービスおよびサポートのために、スキャナのログデータを配布します。support@contex.com に情報を電子メールで送信するか([情報を電子メールで送信])、または 情報を USB に保存します ([情報を USB に保存])。
	設定	プリンタの IP アドレスを入力します - スキャナで LAN 上のプリンタが検出され、接続されます。詳細については、IT サポートにお問い合わせください。
	メディアプロファイル	メディアプロファイルウィザードを実行して、ロードされたメディアで最適なカラーコピーを行うためのメディアプロファイルを作成します。詳細については、「 インストール - プリンタのメディアプロファイルの設定 」を参照してください。
バージョン情報	プリンタのマージンに合わせて補正	プリンタでは印刷できない用紙の端のスキャナアカウントを作成します。コピーを取るときに設定したマージンが正しく得られることを確認します。
	-	現在のスキャナファームウェア、ソフトウェアバージョン、およびネットワークアドレスに関する情報。

管理者コンソール

IQFLEXスキャナでは、スキャナと同じネットワークにアクセスできる任意のWebブラウザで管理者コンソールを開くことで、リモートで設定したりスキャナのアクティビティログにアクセスしたりできます。

任意のWebブラウザのアドレス行にスキャナのIPアドレスを入力して接続します。

http://192.168.50.93/admin

管理者コンソールには、次の機能があります。

ホーム スキャナのシリアル番号とインストールされているファームウェアのレベルを記載したホームページ。

Wi-Fi 公開されているすべてのWi-

Fiネットワークを一覧表示し、パスワードを使用して接続することができます。非公開ネットワークは、サポートされていません。

電子メール .電子メールのホスト、ポート、セキュリティ、アカウント、パスワード、名前、および添付ファイルの最大サイズをリモートで設定できます。

連絡先 このデバイスで既に使用されている電子メール連絡先を一覧表示します。新しい連絡先を追加することもできます。

日付と時刻 .スキャナに保存されている日付と時刻を表示して修正できます。

サイズ スキャナで使用する用紙サイズの標準と計測単位を表示して制御できます。

言語 ユーザーインターフェースとキーボードの言語を選択できます。

タイマー [デフォルトに戻す]タイマーと[スキャナをスリープモードにする]タイマーを表示して設定できます。

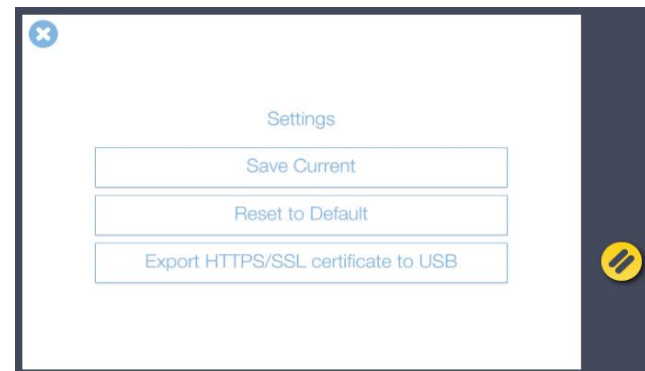
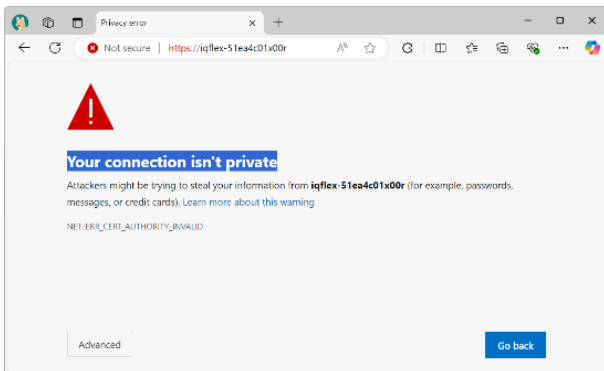
システム リセット、再起動、パスワード設定、およびホスト名の設定(サービスエンジニアのみ)の各機能にアクセスできます。

ログ スキャナのアクティビティログ(サービスエンジニアのみ)



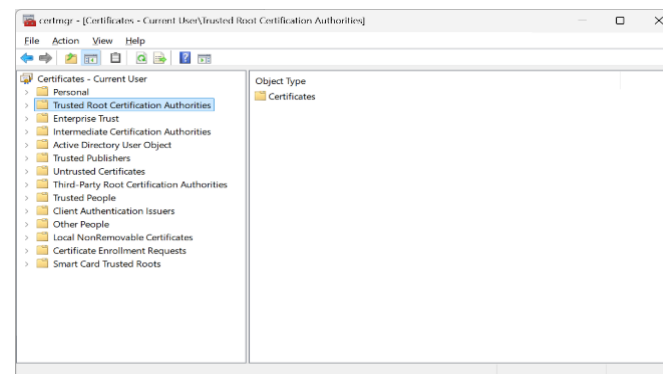
HTTPS Security Warning!

スキャナーの Web インターフェイスに接続すると、接続がプライベートではないという通知がブラウザに表示される場合があります。



このメッセージを回避するには、スキャナーから HTTPS/SSL 証明書をダウンロードし、Windows PC にインポートする必要があります。

1. USB メモリスティックをスキャナーに挿入します。
2. [設定]>[システム]>[オプション]>[設定] に移動します。
3. [HTTPS/SSL 証明書を USB にエクスポート] ボタンをクリックして、証明書を USB メモリスティックに保存します。
4. USB メモリスティックをスキャナーから取り外し、Windows PC にマウントします。
5. PC で Windows キー+R を押して、「certmgr.msc」と入力してから、[OK] を押し、Windows 証明書マネージャーを開きます。
6. [信頼されたルート証明機関] を右クリックして、[すべてのタスク]>[インポート] を選択します。ウィザードを使用すると、USB メモリスティック上の証明書を参照して、証明書をインポートできます。
7. インターネットブラウザを再起動し、スキャナーに再接続します



スキャナのメンテナンス

メンテナンスタスク

スキャナのメンテナンスを行うことで、スキャナの最適な性能が保証されます。メンテナンスには、基本的な作業が2つあります。

1. 清掃

スキャナを汚れない状態に保ちます。内部のスキャンエリアの入念な清掃方法について、次のセクションで説明します。スキャナを清掃する頻度は、スキャンの頻度とメディアのタイプによって異なります。主に新聞や古い青焼きの原稿をスキャンする場合は、カタログや最近の図面だけをスキャンする場合より頻繁に清掃する必要があります。良好なスキャン結果が得られなくなったときには、必ずスキャナの清掃を行ってください。スキャンエリアにはこりが付着しているだけで、スキャンしたイメージに縞が現れることもあります。

詳細については、「[スキャンエリアの清掃](#)」を参照してください。

2. 補正

最適な出力が得られず、クリーニング (上記参照) しても問題が解決されない場合は、スキャナの補正を行ってください。補正によって、イメージキャプチャセンサーの位置が調整され、スキャナのオリジナルカラーと白/黒の精度が更新されます。スキャナの補正は簡単に実行できます。キャリブレーションシートを挿入し、補正ウィザードを実行するだけです。補正を行う前に、スキャナに汚れがないことを確認してください。

詳細については、「[スキャナの補正](#)」を参照してください。

スキャンエリアの清掃

清掃の頻度は、主としてスキャナの使用頻度と原稿の状態によって決まります。原則として、1か月に最低1回は清掃を行い、高い精度が要求される重要なジョブの直前にも必ず行ってください。

以下のスキャナ部品および箇所は、必ず清掃してください。

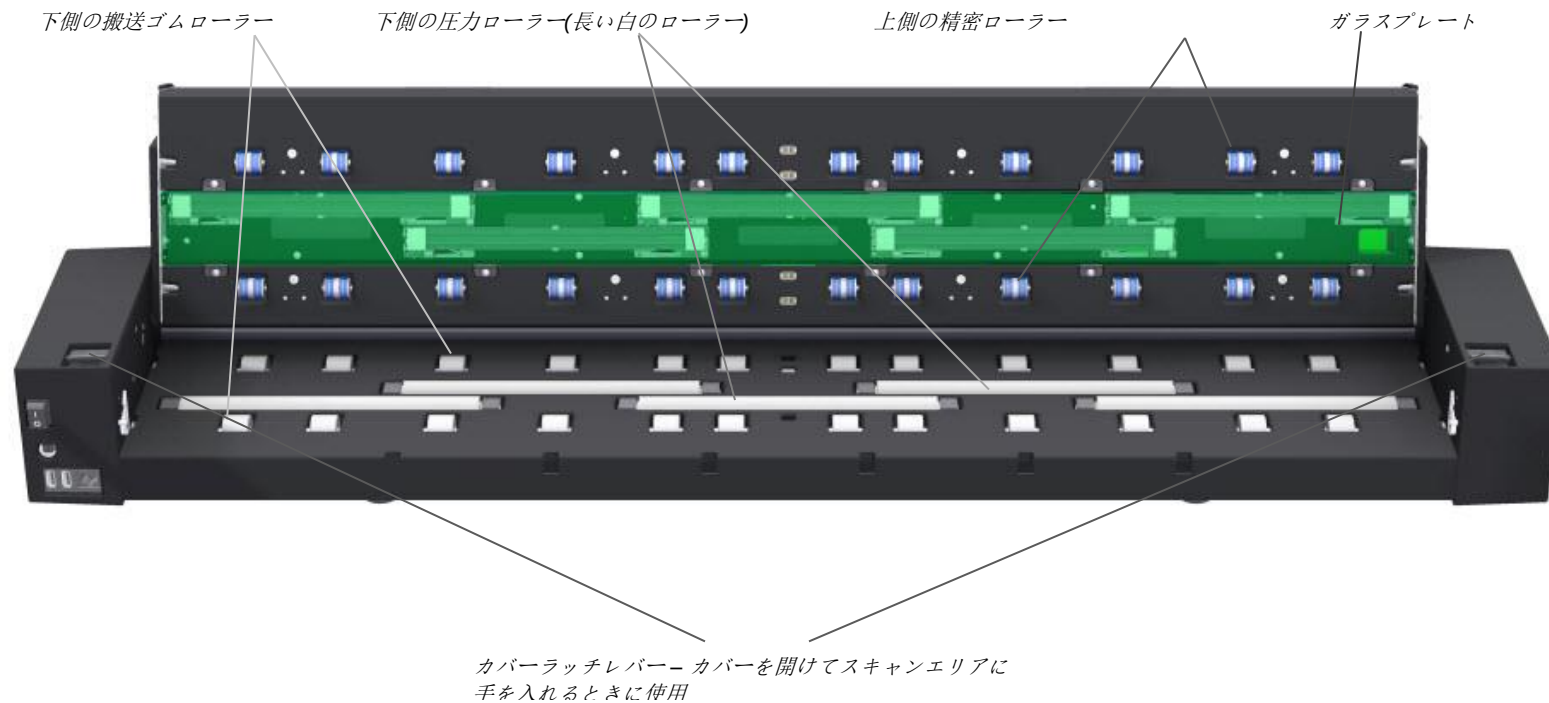
1. スキャナの給紙台
2. ガラスプレート
3. 上側の精密ローラー
4. 下側の圧力ローラー
5. 下側の搬送ゴムローラー



注記: スキャナのこれらの部品の位置を確認するには、次のページの「[概要 – 主要なメンテナンス箇所 – 清掃](#)」を参照してください。

概要－主要なメンテナンス箇所－清掃

次の図は、カバーを開けたスキャナを上から見たところです。スキャナの清掃を行うときに把握しておく必要がある重要箇所(部品および場所)が示されています。これらの箇所が対象となる清掃作業の手順について以降のセクションで説明します。



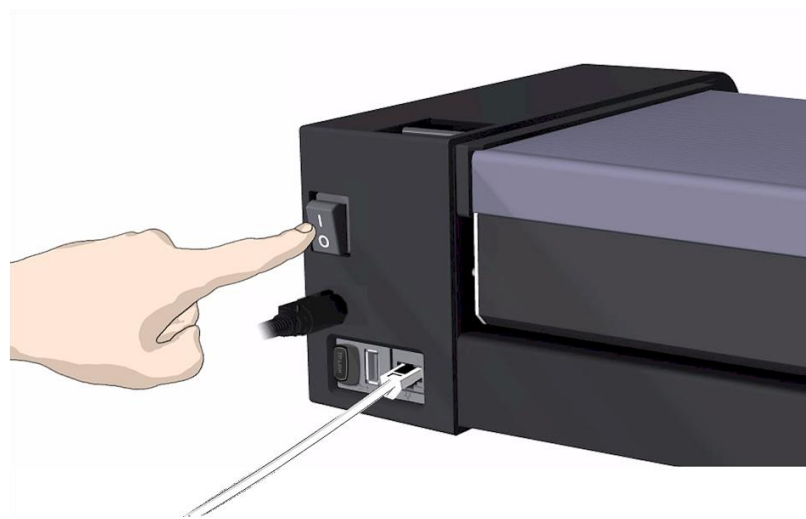
スキャナを清掃するには

スキャナの清掃

1

スキャナの主電源をオフにする

スキャナの背面にある主電源スイッチを押してオフにします ("0"の側を押す)。

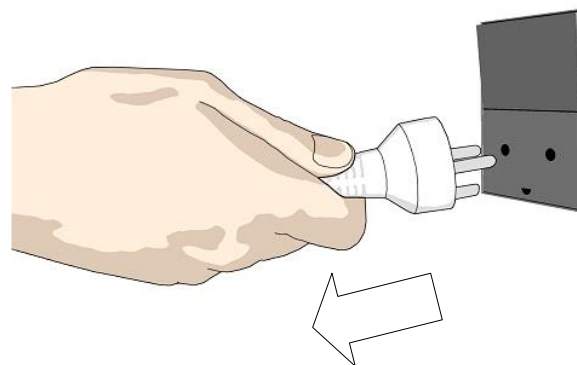


スキャナの清掃

2

スキャナの電源ケーブルを抜く

⚠ 警告: スキャナの清掃を行う前に、必ず電源ケーブルを抜いてください。これは、怪我やスキャナの破損を防ぐためです。



スキヤナの清掃

3

タッチスクリーンを折り畳む

スキヤナのメンテナンス中にタッチスクリーンを保護するには、上端をつかんで折り畳みます。



スキヤナの清掃

4

給紙台を清掃する

スキャンエリアに原稿とともにほこりが入り込まないように、スキヤナの給紙トレイの表面を清掃します。



スキヤナの清掃

5

カバーの解除ボタンを押して、カバーを開く

スキヤナの両側面のカバーの奥側にある解除ボタンを使用して、スキヤナカバーを開きます。

1. スキヤナの前に立ちます。
2. 各解除ボタンのロックが外れるまで、両方の解除ボタンを指で引き上げます。

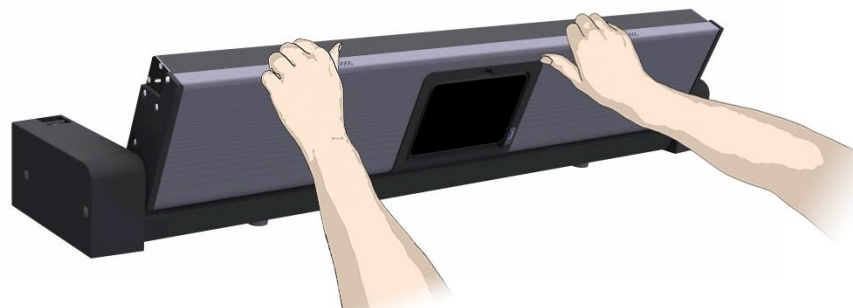


スキヤナの清掃

6

スキヤナを開く

カバーの端を持って手前に引き上げます。スキヤナカバーが止まるまで完全に開きます。



スキヤナの清掃

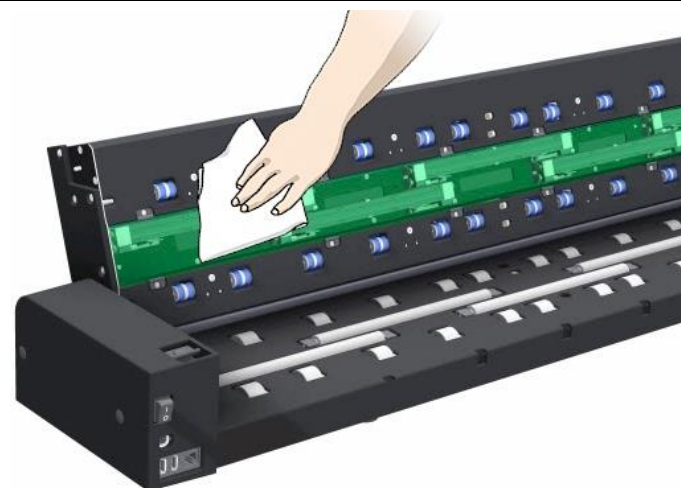
7

スキヤナのガラスプレートを清掃する

ガラスプレートの清掃には、糸くずの出ない新しいきれいな布を2枚使用します。給紙台の清掃に使用した布は使用しないでください。

1. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. ガラスプレートを軽く拭きます。
3. もう1枚の糸くずの出ない乾いたきれいな布でガラスをから拭きして完全に乾かします。
4. 液体がガラスの下に入り込まないように注意し、その部分を乾いた状態に保ってください。

警告: ガラスプレートやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。



スキヤナの清掃

8

上側の精密ローラーを清掃する

上側の精密ローラーは、カバー内のガラスプレートの両側に並んでいます。これらのローラーは、スキヤナ内を移動する原稿の向きをまっすぐに保つ働きをします。上側の精密ローラーは原稿の印刷面に直接触れるため、清掃時には特に注意を払う必要があります。

1. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. ローラーの表面を軽く拭きます。
3. 布を使用してローラーを回し、すべての面を拭きます。
4. 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布でローラーをから拭きして完全に乾かします。
5. ローラーの周辺部を乾かします。

警告: ローラーやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。



スキヤナの清掃

9

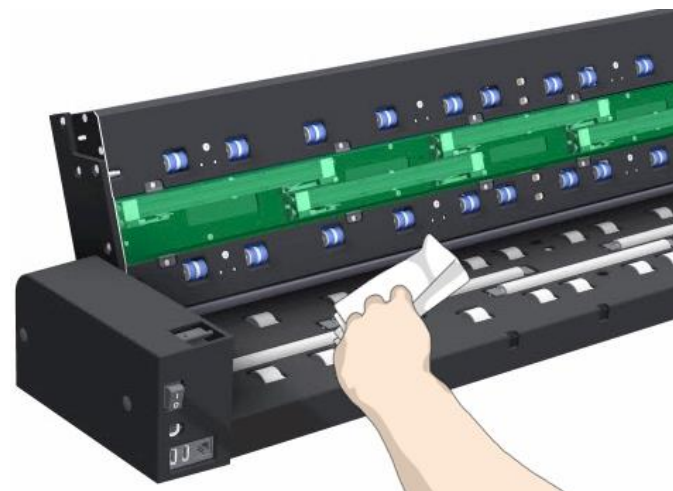
白い圧力ローラーを清掃する

白い圧力ローラーとは、黒い搬送ローラーの間にある長いローラーのことです。このローラーは、原稿をスキヤナ内で平らに保つ役割を果たします。

1. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. 白いローラーの表面を軽く拭きます。
3. 布を使用してローラーを回し、すべての面を拭きます。
4. 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布でローラーをから拭きして完全に乾かします。
5. ローラーの周辺部を乾かします。



警告： ローラーやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。



スキヤナの清掃

10

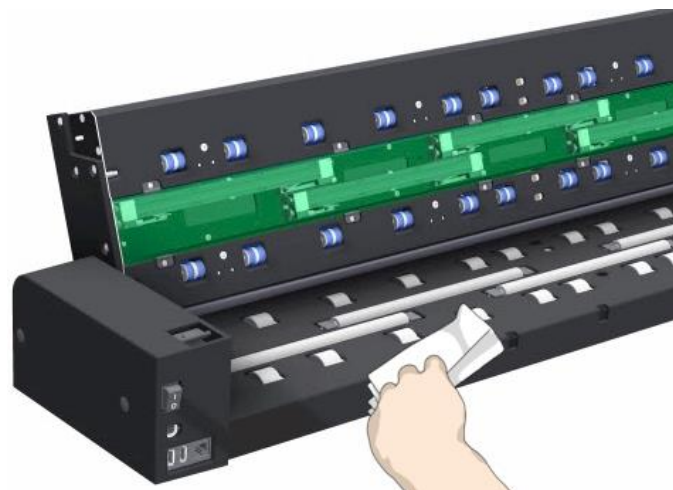
搬送ローラーを清掃する

搬送ローラーと黒いラバーホイールは、白い圧力ローラーの内側に2列に並んでいます。黒い搬送ローラーは電動式で、スキヤナ内で原稿を送ります。

1. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. 搬送ローラーの表面を軽く拭きます。
3. 布を使用してローラーを回し、すべての面を拭きます。搬送ローラーはすべてアクセルに連結されているため、1つを回すだけですべてのローラーが回ります。
4. 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布で搬送ローラーをから拭きして完全に乾かします。
5. ローラーの周辺部を乾かします。



警告： ローラーやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。

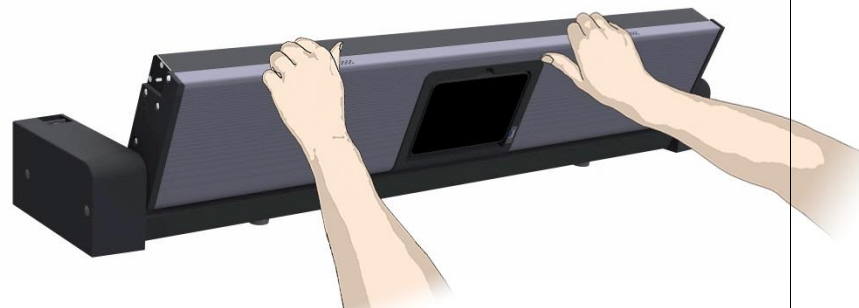


スキヤナの清掃

11

カバーを閉じる

1. スキヤナカバーの上部に手を当て、カチッという音がしてラッチがかかるまで押し下げます。
2. カバーを軽く上げて完全に閉まっていることを確認します。



スキヤナの清掃

12

スキヤナの清掃完了

スキヤナとスキャンエリアの清掃手順が完了しました。

1. タッチスクリーンを持ち上げて、垂直の位置に戻します。
2. スキヤナの電源を入れる
3. 主電源スイッチをオンにします。



スキヤナの補正

スキヤナの補正は簡単に実行できます。キャリブレーションシートを挿入するだけで、あとは補正ウィザードが自動的に処理を実行します。



注記: 補正を行う前に必ずスキヤナおよびスキャンエリアを清掃してください。

スキヤナを補正するには

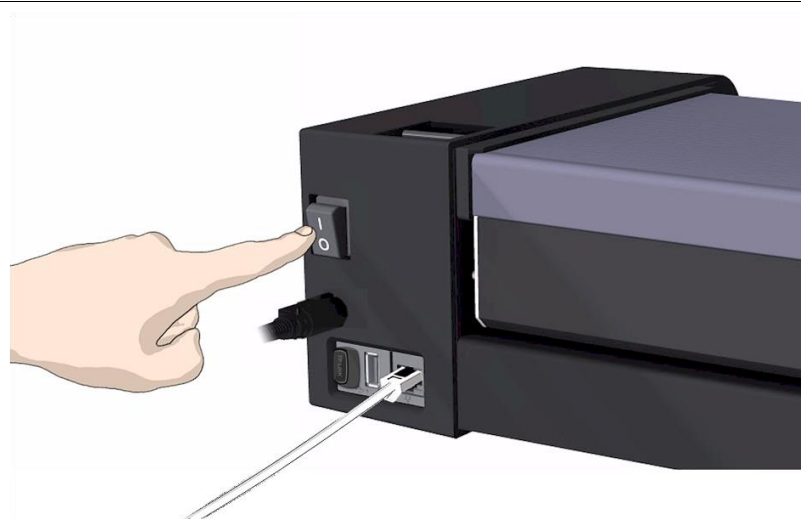
補正

1

スキヤナの電源を入れる

主電源がオフになっている場合は、スキヤナの背面にある主電源スイッチを押してオンにします。スキヤナがスリープモードになっている場合は、いずれかのボタンを押してスキヤナをウェイクアップモードにします。

電源が完全にオンになると、スキヤナは補正を実行できる状態になります。



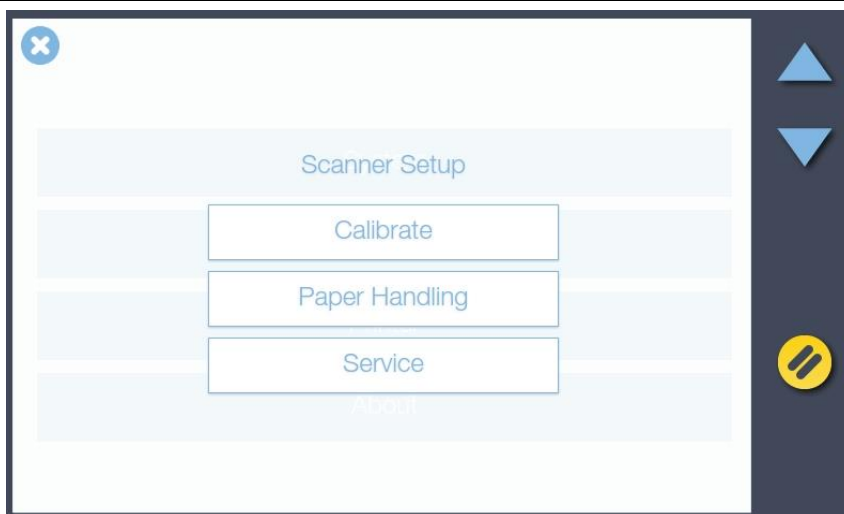
補正

2

スキャナ補正ウィザードを起動する



[設定>スキャナ>補正]



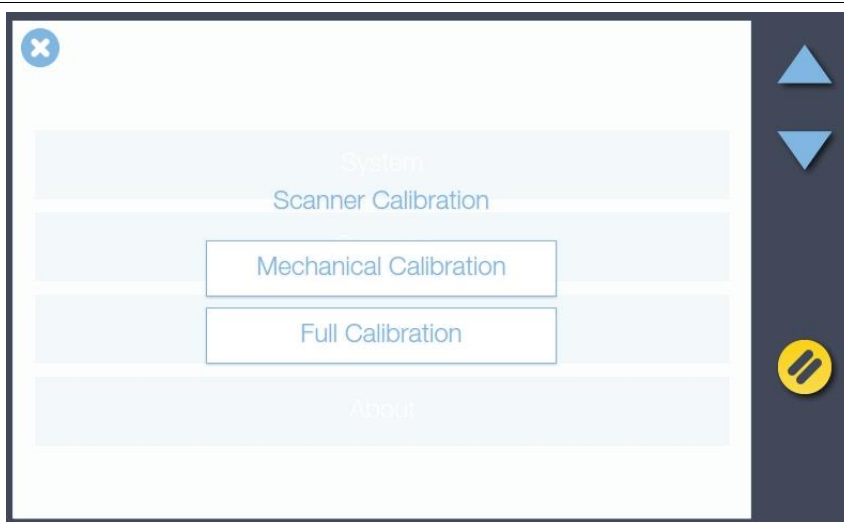
補正

3

補正の種類を選択します。

[機械的特性補正]または[完全補正]のいずれかを選択します。

- 機械的特性補正では、イメージスティッチングが正しく行われるように水平キャプチャのみが調整されます。
- 完全補正では、機械的特性補正(位置調整)、白/黒補正、およびカラー補正が行われます。



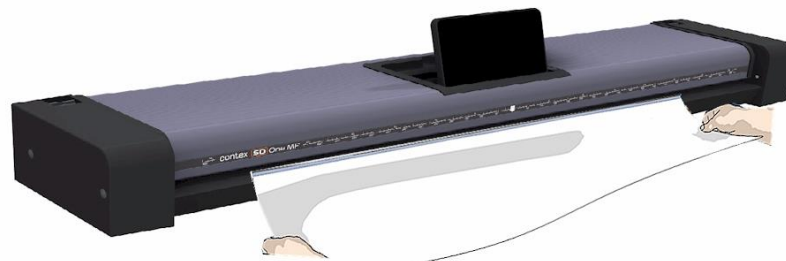
補正

4

キャリブレーションシートを挿入する

ウィザードの実行中に、スキャナに付属のキャリブレーションシートを挿入するように指示されます。シートの印刷面を上にして挿入します。シートの中心矢印をスキャナの中心矢印に揃えて、シートをスキャナに給紙します。

ウィザードの[次へ]ボタンをクリックして続行します。



補正

5

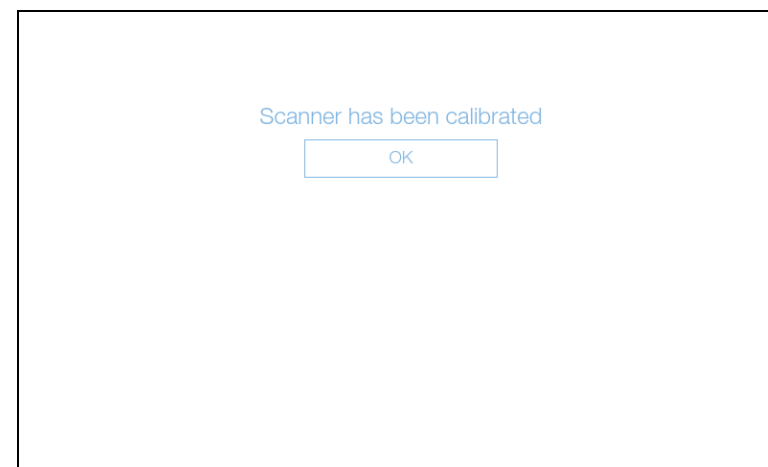
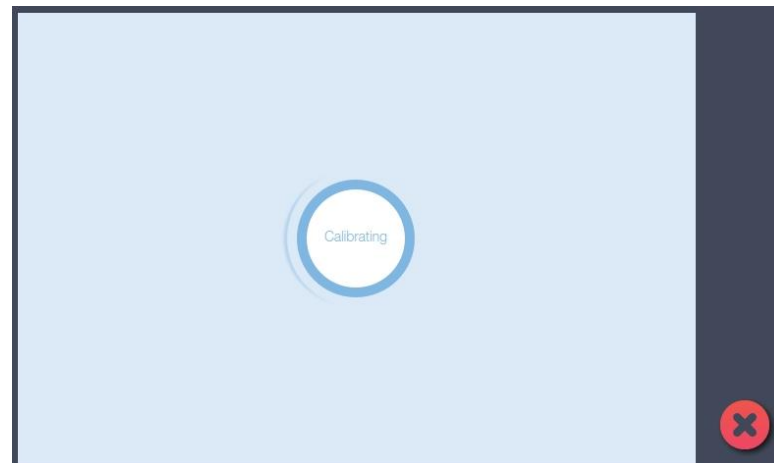
プログラムがスキャナを補正する

プログラムが段階的に動作し、センサーの解析と修正、白/黒値の補正、およびカラーの補正を実行します。キャリブレーションシートが繰り返しスキャンされ、プログラムがデータを処理します。

要求した補正処理が完了するまで待ちます。

補正処理が完了すると、それを示すメッセージが表示されます。

1. スキャナキャリブレーションシートをスキャナから取り外します。
2. スキャナキャリブレーションシートを保護カバーに戻してから、保管フォルダに入れます。
3. 直射日光の当たらない乾燥した場所にフォルダを保管します。



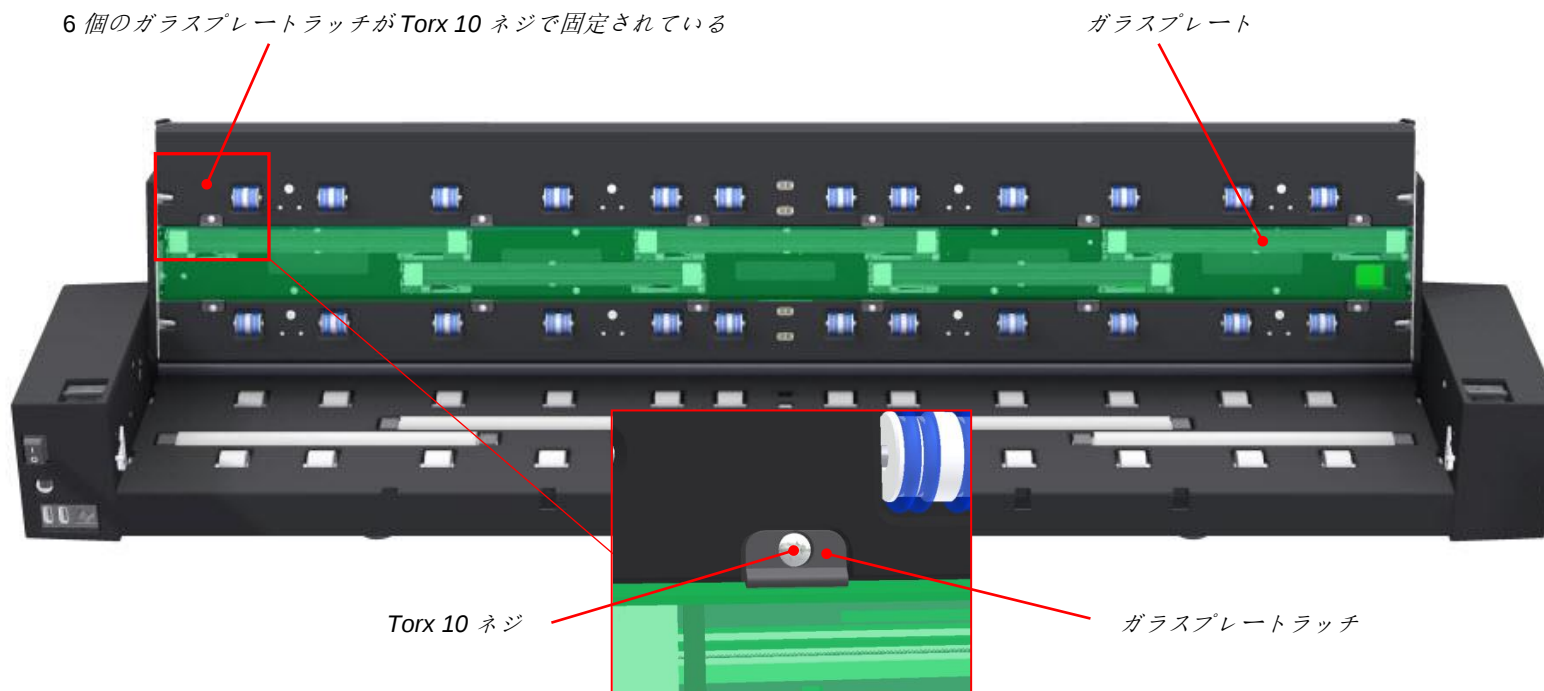
ガラスプレートの交換

スキャン中、原稿はスキャナのセンサーを通過するとき、ガラスプレートにこすれます。ガラスプレートは長期間使用すると摩耗したり傷が付いたりすることがあり、画質やスキャン精度の低下につながる場合があります。ガラスプレートの交換により、スキャナは更新され、最適な結果が保証されます。

ガラスプレートを交換するために把握しておく必要のある主要な部品：

次の図は、カバーを開けたスキャナを背面から見たところです。摩耗したガラスプレートを交換するときに把握しておく必要のある主要な部品とボタンが示されています。

ガラスプレートは、小さなプラスチック製ラッチで固定されています。各ラッチは、Torx 10 ネジを取り外すと、ガラスプレートから外すことができます。以降のページで作業手順を説明します。

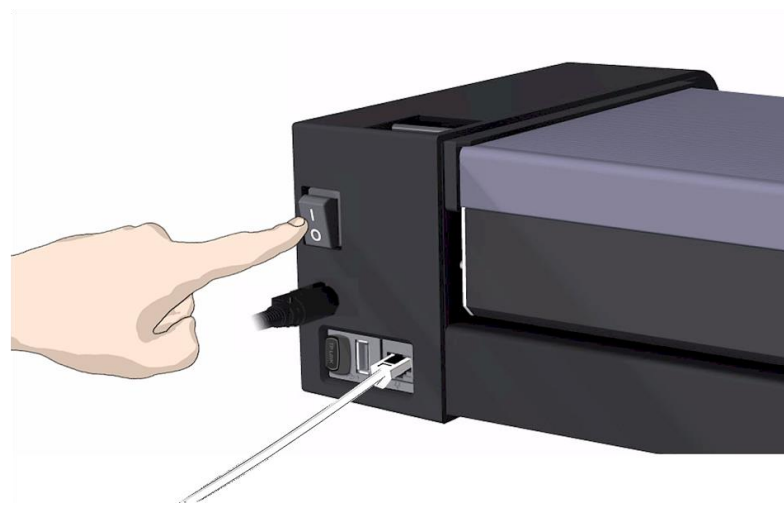


ガラスプレートの交換

1

スキャナの電源をオフにする

スキャナの背面にある主電源スイッチを押してオフにし、イーサネットと電源のケーブルを取り外します。

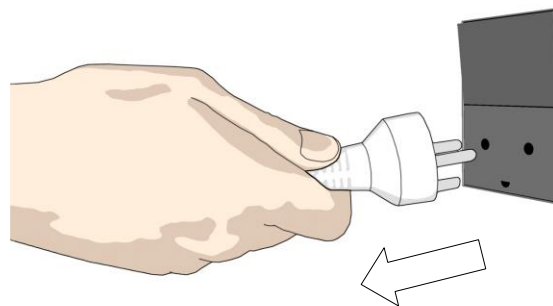


ガラスプレートの交換

2

スキャナの電源コードを抜く

! 警告: この指示を無視しないでください。これは、怪我やスキャナの破損を防ぐためです。



スキヤナの清掃

3

タッチスクリーンを折り畳む

ガラスの交換中に、タッチスクリーンを保護します。上端をつかんで折り畳みます。



ガラスプレートの交換

4

カバーの解除ボタンを押して、カバーを開く

スキヤナの梱包および輸送中に内部のスキャンエリアにたまったほこりを拭き取ります。スキヤナカバーの側面の奥側にある解除ボタンを使用して、スキヤナカバーを開きます。

1. スキヤナの前に立ちます。
2. 各解除ボタンのロックが外れるまで両方の解除ボタンを指で引き上げます。

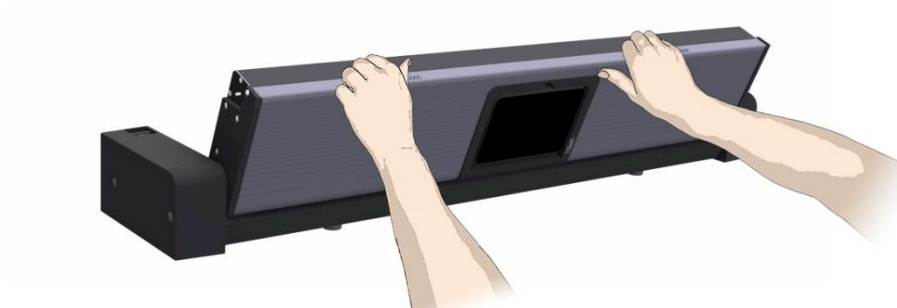


ガラスプレートの交換

5

スキャナを開く

カバーを手前に引いて完全に開き、スキャンエリアとガラスプレートを露出させます。



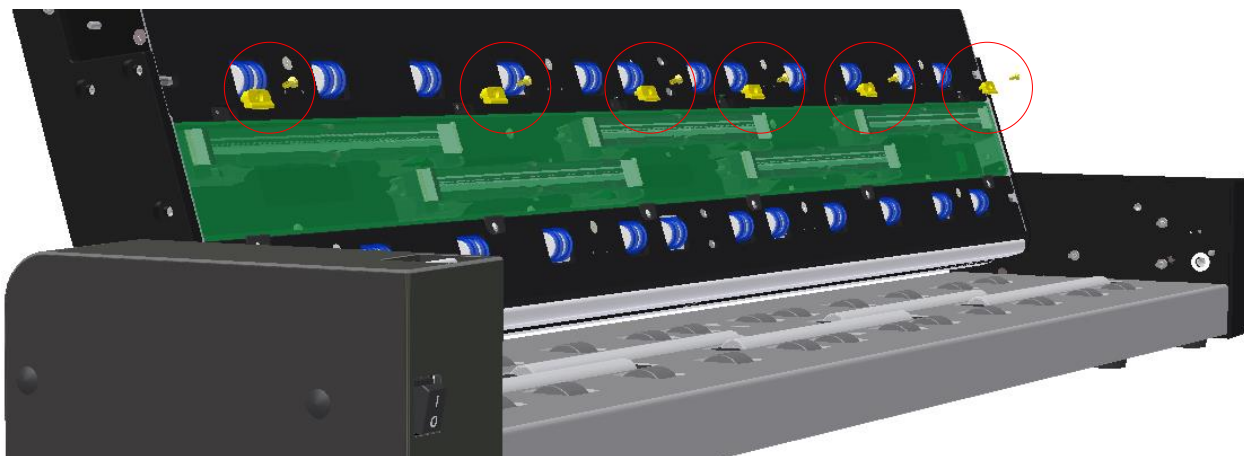
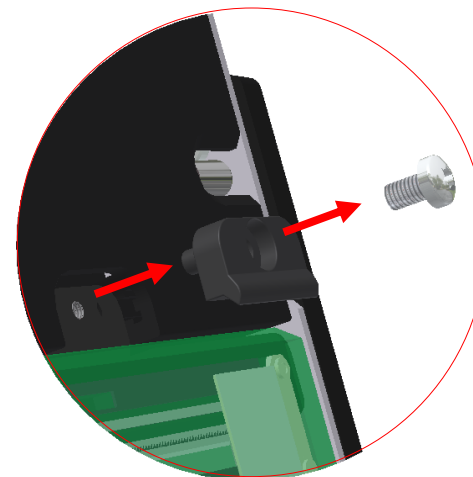
ガラスプレートの交換

6

Torx 10 ネジ 6 個とラッチ 6 個(SD One 24 の上に 4 個)を取り外します。

ガラスプレートを交換するときに扱う主要部品を把握し、位置を確認する必要があります。
上の「[主要部品の概要](#)」を参照してください。

1. スキャナの背面に立ちます。スキャナの右側から始めます。
2. 上の列のみ、すべてのネジとラッチを取り外します。



ガラスプレートの交換

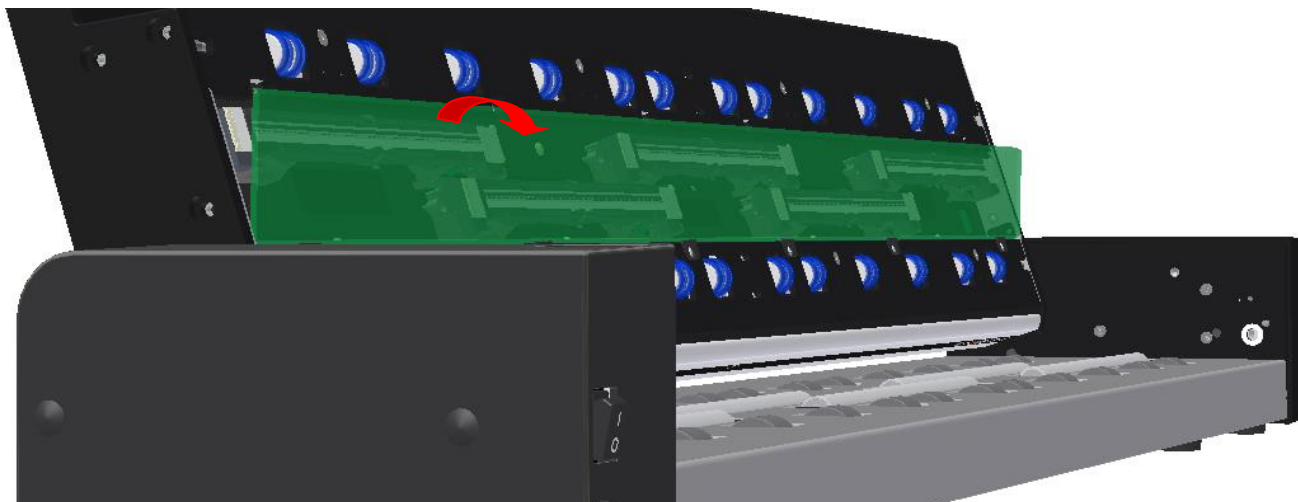
7

ガラスプレートを取り外す

ガラスプレートは、スキャナから取り外すことができる状態になっています。

3. ガラスプレートの上端を持ち上げてスキャナから外します。
4. ガラスプレートの端を持ち、スキャナからガラスを持ち上げます。

 **警告：** ガラスプレートは長くて薄いため、非常に割れやすくなっています。スキャナの上でガラスプレートを割らないように注意してください。



ガラスプレートの交換

8

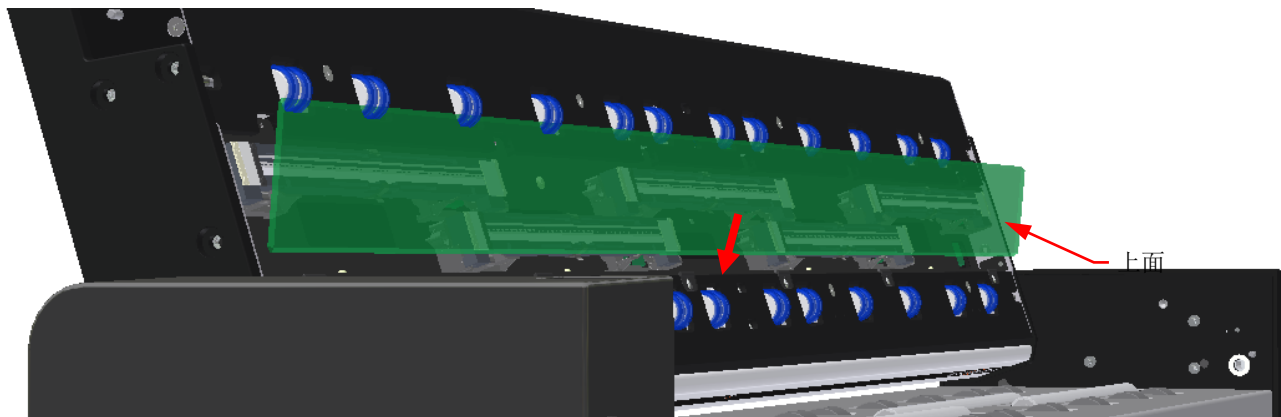
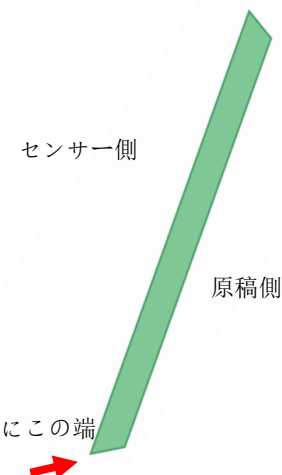
スキャナに新しいガラスプレートを取り付ける

1. 新しいガラスプレートを持ち上げます。ガラスプレートの表面に触れないように両端を持ってください。
2. メンテナンス中に通常は清掃しないガラスプレートの裏面に触らないよう**特に注意**してください。
3. ガラスプレートを持ってスキャナの後に立ちます。
4. ガラスプレートは、表面を正しい向きにして持ってください。両端のカットの方向によってガラスプレートの原稿側を見分けることができます。ガラスプレートの側面図(右)を参照してください。
5. 以下に示す向きでガラスプレートを持ちます。
6. 図のようにガラスプレートを傾けてスキャナ内に下ろし、ガラスプレートの下側のエッジがスキャナの下側のラッチに収まるようにします(次の手順を参照)。

! 警告: ガラスプレートは長くて薄いため、割れやすくなっています。ガラスプレートを割らないように注意してください。

ガラスプレートの側面図:

図のような角度を保ちながら、ガラスプレートをスキャナの上を下ろします。

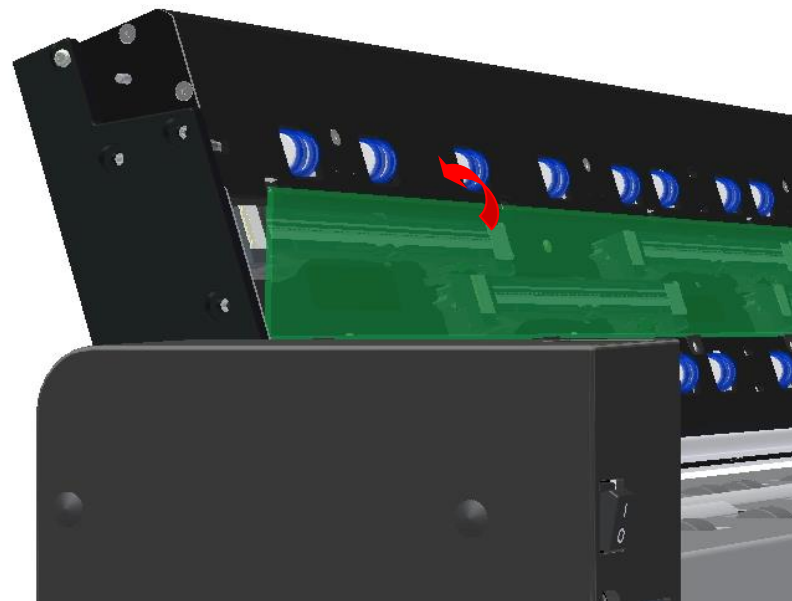


ガラスプレートの交換

9

上端を傾けてガラスプレートを配置する

ガラスプレートが下側のラッチに収まった状態で、ガラスプレートがスキャナカバーに完全にはまるように、上側のエッジを慎重に傾けます。



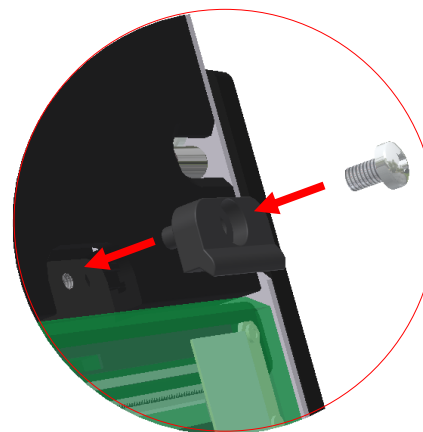
ガラスプレートの交換

10

ガラスプレートを固定する

ラッチ 6 個とネジ 6 個(SD One MF24 は 4 個)を交換します。

1. スキャナの右側から、ラッチとネジを差し込みます。
2. 締めすぎないように注意しながら、ゆっくりとネジを締めます。
3. ガラスプレートがラッチで押さえられていることを確認します。



ガラスプレートの交換

11

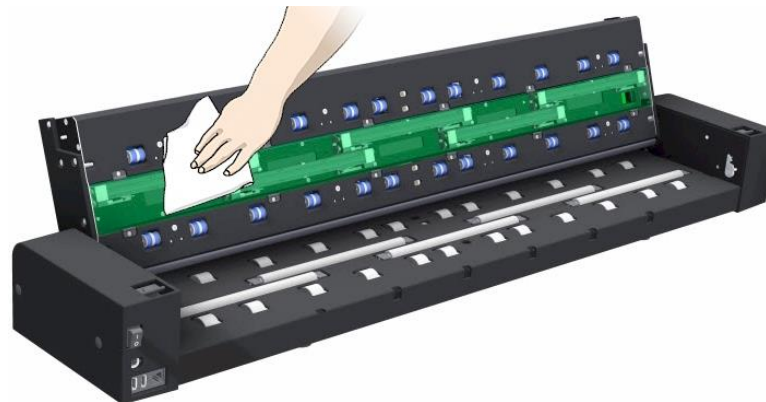
ガラスプレートを清掃する

ガラスプレートの清掃には、糸くずの出ない新しいきれいな布を使用します。

1. スプレーなどを使用し、布の片側に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
2. ガラスプレートを軽く拭きます。交換作業中に表面に付いた可能性のある指紋や染みを探して拭き取ってください。
3. 布の反対側（乾いている方）でガラスプレートをから拭きして完全に乾かします。
4. 液体がガラスプレートの下に入り込まないように注意し、その部分を乾いた状態に保ってください。



警告: ガラスプレートやスキャンエリア内の他の箇所にクリーナー液をスプレーなどで直接かけないでください。



ガラスプレートの交換

12

ガラスプレートの交換完了

1. 「カチッ」という音がしてラッチがかかるまで、スキャナカバーを完全に閉じます。カバーを軽く上げて完全に閉まっていることを確認します。
2. タッチスクリーンを引き上げます。
3. スキャナの電源ケーブルを接続し、主電源スイッチをオンにしてください。



注記: ガラスプレートの交換後も良好なスキャン結果が得られない場合は、[スキャナの補正](#)を実行し、新しいガラスプレートに合わせてスキャナを調整してください。



スキャナソフトウェアのアップデート

スキャナソフトウェアのアップデートは、インターネット接続を経由して行うことができます。ソフトウェアのアップデートは自動または手動で行うことができます。

自動アップデート

- スキャナのアップデートが初めて利用可能になると、アップデートの登録を求める通知が画面に表示されます。
- 登録すると、その後のアップデートはすべてシステムに自動的に送信されます。
- アップデートが利用可能になると通知が表示され、直ちにアップデートを有効にするか、都合のいいときに後で有効にするかを選択できます。

手動アップデート

スキャナの画面からソフトウェアを手動でアップデートすることもできます。



[設定>システム>アップデート]

Context LINK クライアントソフトウェアのアップデート

1. PC がインターネットに接続されていることを確認します。

2. PC で Context LINK を起動します



3. セットアップアイコンを押します。



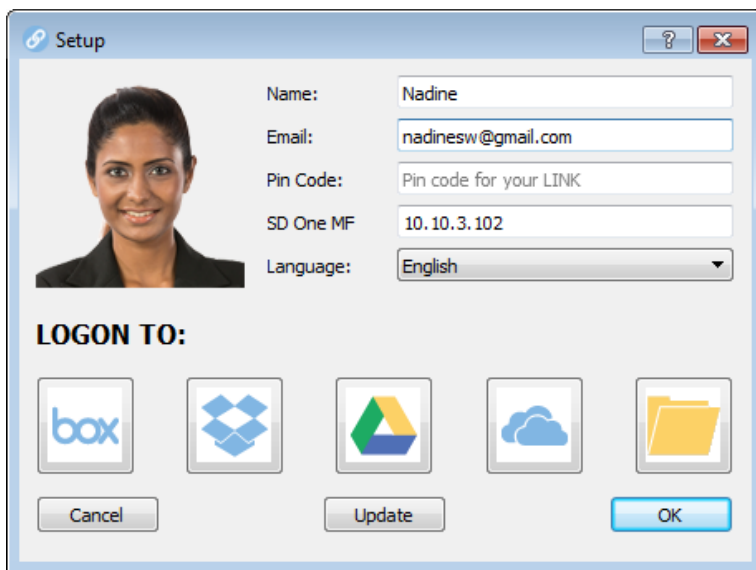
4. [アップデート]ボタンがアクティブになっている場合は、ボタンを押してダウンロードおよびインストールウィザードを開始します。

5. 画面に表示される指示に従ってください。



注記: 以下から Context LINK をインストールすることもできます。

<http://www.context.com/LINK>

A screenshot of the Context LINK Setup window. The window has a title bar with a question mark and a close button. On the left, there is a profile picture of a woman. To the right of the picture are input fields for Name (Nadine), Email (nadinesw@gmail.com), Pin Code (Pin code for your LINK), SD One MF (10.10.3.102), and Language (English). Below these fields is a section titled "LOGON TO:" with five icons representing different cloud storage services: Box, OneDrive, Google Drive, iCloud, and a generic folder icon. At the bottom of the window are three buttons: Cancel, Update, and OK.

Context LINK スキャンクライアントソフトウェアのアップデート: [アップデート]ボタンを押します。

スキャナに関するトラブルシューティング

このセクションでは、スキャナで発生する可能性のある一般的な問題のトラブルシューティング手順について説明します。実際の状況に合致する問題の説明を探してください。見つかった場合は、推奨されているトラブルシューティング手順を実行してから修理の依頼をしてください。

技術サービス

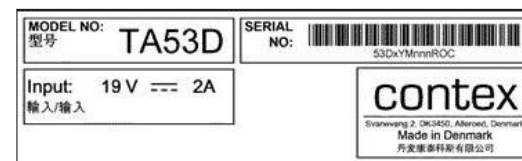
技術的なサポートが必要となる場合もあります。以下の1つ以上の状況に該当する場合は、サービスプロバイダに連絡してください。

- 画面に表示される方法でエラーを解決できない。
- エラーとその解決方法がこのユーザーズガイドに記載されていない。
- エラーメッセージが画面に表示されない。



注記: サービスプロバイダの連絡先については、メーカーの Web サイトを参照してください。

問題への最善の解決策を迅速に得るためには、サービスプロバイダに技術サポートを依頼する前に、できるだけ多くの情報を用意する必要があります。



1. **スキャナモデル名とシリアル番号**を書き留めてください。シリアル番号はスキャナカバーの下側のラベルに印刷されています。カバーを開けてラベルを確認してください。
2. **ファームウェアとソフトウェアのバージョン**を書き留めてください。ソフトウェアインタフェースが実行されている場合は、以下を選択します。



-> [バージョン情報]

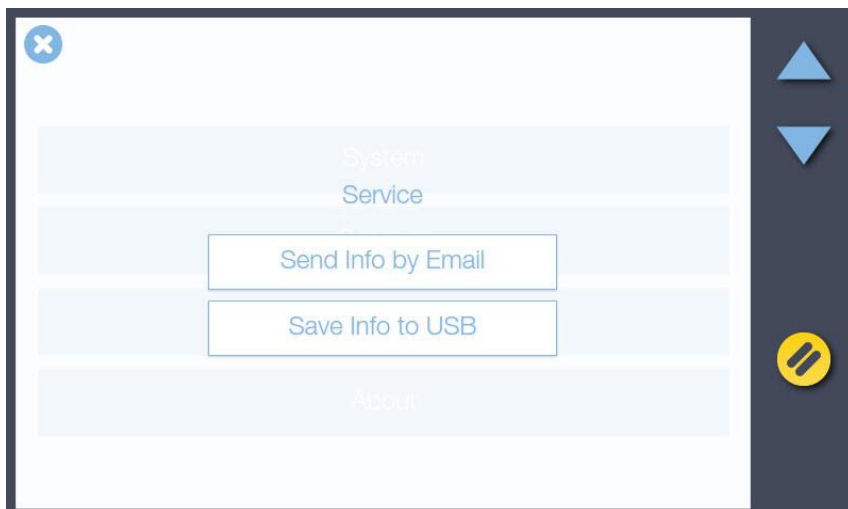
3. **Context LINK (クライアントソフトウェア)のバージョン**を書き留めます。PC で Context LINK ソフトウェアを起動します。バージョン番号は上部に表示されます。
4. **スキャナの IP アドレス**を書き留めます。これは、オンラインのリモートサポートを受ける場合に役立ちます。スキャナの IP を表示するには、以下を選択します。



-> [スキャナ] -> [ネットワーク]

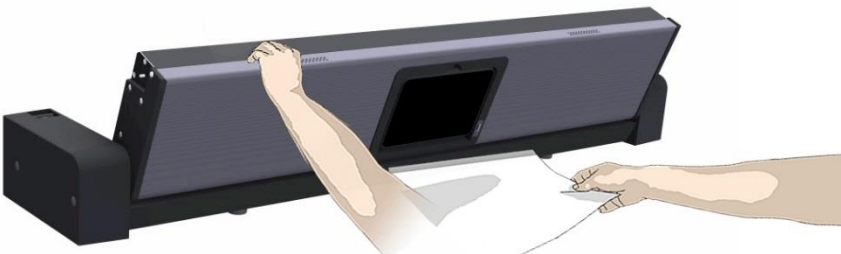
5. 技術サービスが問題をできるだけ早く解決できるように、スキャナの重要なデータを含んでいる**ログファイル**をさらに提供するとよいでしょう。
6. スキャナのログを提供するには、以下のようにします。
7. [設定]アイコンを選択します:  -> [スキャナ] -> [サービス]
8. ログファイルの保存または送信方法を選択します。

- a. ログファイルを support@contex.com に送信するには、**[情報を電子メールで送信]**を選択します。これを選択するには、送信電子メールサーバの設定が適用されていて、スキャンが実行されている必要があります。詳細については、「インストール」を参照してください。
- b. スキャナの上部に挿入する USB キーにログファイルをコピーするには、**[情報を USB に保存]**を選択します。

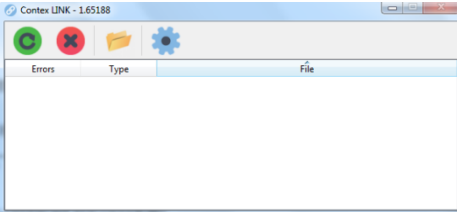


スキャナのログファイルを送信または保存します。これは、サービス技術者が問題を特定し、解決するのに役立ちます。

スキヤナの操作に関連する問題

問題	考えられる原因と解決方法
エラーメッセージ: 紙詰まり	紙詰まりエラーが発生すると、スキヤナは、原稿が駆動機構内にまだある状態でスキャンを停止します。解決するには、次の手順を実行します。 1. スキヤナカバーを開きます。両方のカバー解除ボタンをスキヤナの中央に向けて同時に押して、ロックを解除します。カバーの端をつかんで開きます。  カバー解除ボタンを押してカバーを開きます。 2. 一方の手でカバーを引き上げて開き、もう一方の手で原稿を引き出してスキャンエリアから完全に取り除きます。  3. カバーを閉じます。 スキヤナが使用可能状態に戻ったら、原稿を再度挿入し、スキャンを実行します。

スキャナの補正中のエラーメッセージ: ステイッチ調整に失敗しました	このメッセージは 補正ウィザードの実行中に表示されることがあります。 1. 最も多い原因は、ガラスプレートの汚れや染みです。スキャンエリアを清掃し、スキャナを再起動してから、このガイドの「スキャナの補正」セクションの記載に従って補正を実施します。 2. スキャンエリアを清掃しても問題が解決しない場合は、光学経路内に異物が入り込んだことが原因である可能性があります。スキャンエリアから紙片などの異物を取り除いてください。ごく小さな異物であってもスキャナの調整機能を阻害します。 3. 問題が解決しない場合は、技術サービスプロバイダにお問い合わせください。
スキャンしてクラウドサービスに保存できない	次のようなメッセージがスキャナの画面に表示されます: “Context LINK によるこそ。<クラウドサービス名>が有効ではありません 1. Context LINK クライアントソフトウェアを PC にインストールしていて、特定のクラウドサービスに対するパラメータを設定していることを確認します。手順については、「Context LINK スキャンクライアントソフトウェア」セクションを参照してください。 2. 設定が行われている場合は、PC からクラウドサービスへのログイン資格情報をテストします。 3. Context LINK でクラウドサービスの設定を繰り返します。 4. Context LINK ソフトウェアの最新バージョンが PC にインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Context LINK をアップデートしてから上記の手順を繰り返します。/Context LINK クライアントソフトウェアのアップデート」を参照してください。
スキャナで自分自身がユーザとして認識されない	スキャナの画面で利用可能なユーザをスクロールしても、自分自身がユーザとして表示されていません。以下の手順を試します。 1. Context LINK クライアントソフトウェアを PC にインストールしていて、ユーザのパラメータを正しく設定していることを確認します。クライアントソフトウェアをインストールしてクラウドサービスに接続する方法については、「Context LINK スキャンクライアントソフトウェア」を参照してください。 2. スキャナを再起動して、LAN 上のすべてのユーザを再検出します。 3. 上記の操作に失敗した場合は、PC 上の Context LINK ソフトウェアをアップデートしてから上記の手順を繰り返します。「Context LINK クライアントソフトウェアのアップデート」を参照してください。

スキャンした後にスキャンファイルが見つからない	スキャンして PC またはクラウドサービスに保存することを選択したのに、スキャンファイルが見つかりません。 - 正しく実行されている場合、ファイルの保存先は次の場所になります。 - スキャンして PC に保存: Context LINK スキャンクライアントインタフェースの上部にあるフォルダアイコンを選択し、ファイルにアクセスします  - スキャンしてクラウドサービスの Box に保存: ルートにある <i>Contex Solutions</i> フォルダ - スキャンしてクラウドサービスの Google ドライブ に保存: ルートにある <i>Contex Solutions</i> フォルダ - スキャンしてクラウドサービスの OneDrive に保存: ルートにある <i>Contex Solutions</i> フォルダ - スキャンしてクラウドサービスの Dropbox に保存: Apps フォルダにある <i>Contex Solutions</i> フォルダ - ファイルの転送に失敗した場合は、そのファイルが Context LINK エラーログにリストされます。表示するには、PC で Context LINK を起動  します。  <i>Context LINK</i> のエラーログ
スキャンして電子メール送信できない	スキャンして電子メール送信することを選択し、正しい電子メールアドレスを入力しました。しかしエラーが表示され、スキャナの電子メールアイコンに赤いドットが示されています。  送信メールがスキャナで正しく設定されていない可能性があります。  -> [システム]-> [電子メール] に移動して、送信電子メールを正しく設定します。 パラメータの詳細については、「電子メールサーバ設定の入力」を参照してください。  注記: 電子メール設定は、会社の IT とその電子メールソリューションに関連するため、通常は IT 専門家によるサポートが必要です。

スキャン結果に関連する問題

問題	考えられる原因と解決方法
スキャン：スキャンのカラーが原稿のカラーと異なる	スキャナの完全補正を実行する必要があります。完全補正には、カラー調整が含まれます。 1. スキャンエリアを十分に清掃します。手順については、「スキャンエリアの清掃」を参照してください。 2. 補正ウィザードを実行し、このガイドの「スキャナの補正」セクションの記載に従います。 3. 完全補正を選択します。
コピー - 印刷された出力のカラーが原稿のカラーと異なる	1. [メディア]設定が、プリンタにロードされているメディアに一致することを確認します。詳細については、「コピー設定」を参照してください。設定が間違っている場合は、正しいメディアに修正します。 2. 正しい[メディア]設定を[コピー設定]で使用している場合は、新しいメディアプロファイルを再作成する必要があります。 a) スキャンエリアを十分に清掃します。手順については、「スキャンエリアの清掃」を参照してください。 b) 補正ウィザードを実行し、このガイドの「スキャナの補正」セクションの記載に従います。完全補正を選択します。 新しいメディアプロファイルを作成します。  c)  -> [プリンタ]を選択します。 d) [メディアプロファイル]を選択してメディアプロファイルウィザードを起動し、新しいメディアプロファイルを作成します。 e) 画面に表示される指示に従ってください。詳細については、「プリンタのメディアプロファイルの設定」を参照してください。
イメージの一部がスキャンされない	原稿が正しく挿入されていることを確認します。 1. 必ず原稿の中央をスキャナの中央の矢印に合わせます。 2. 印刷面を上にして挿入します。

イメージの両側に大きな余白がある	スキャン設定の[<u>面積</u>]オプションに移動し、緑の実行ボタンを押します。 • [全て]の設定は、スキャナが原稿のサイズを無視し、スキャナ全体の幅をキャプチャすることを意味します。それによって、ドキュメントの両側に余白が追加されます。 • 挿入された原稿の幅のみをスキャンする場合は、[自動]を選択します。
イメージステッチングに関する問題: イメージセクションのずれ(センサーとセンサーの間 - ピクセルの重なり)	1. スキャナから原稿を取り出し、スキャナの補正を実行します。 2. [機械的特性補正]を選択してステッチングエラーを補正します。 3. 補正を行っても問題が解決しない場合は、センサーの再調整が必要である可能性があります。技術サービスプロバイダにお問い合わせください。
スキャンしたイメージに原稿にはない 1 つ以上の細い垂直線(給紙方向)が現れる。	原因として多いのはガラスプレートの汚れです。ガラスプレートにほこりが付いていると、それが 1 か所であっても、場所が悪ければスキャン結果の全体に縞が発生することがあります。解決するには、次の手順を実行します。 1. このユーザーズガイドの「清掃」に記載された手順に従ってガラスプレートとローラーを清掃します。 2. ガラスプレートに付着するほこりのほとんどは、挿入される原稿によって持ち込まれます。原稿を糸くずの出ない乾いた布で拭いてほこりを取り除いてからスキャナに挿入してください。 3. 清掃しても問題が解決しない場合は、スキャナを補正します。スキャナはほこりがあった位置を記憶している可能性があるため、ほこりを除去した後で再補正を行う必要があります。 4. 清掃と補正を行っても問題が解決しない場合は、ガラスプレートに傷がないかどうか確認してください。ガラスプレートに傷が付いている場合は交換が必要です。サービスプロバイダから新しいガラスプレートを入手してください。このユーザーズガイドに記載された手順に従ってガラスプレートを交換してください。 5. キャリブレーションシートの破損も縞が現れる原因になります。新しいキャリブレーションシートを入手し、スキャナの再補正を行ってください。

付録

安全に関する重要な注意事項



これらの注意事項を全て読み、後で使用できるように保存してください。スキャナに付いている全ての警告および指示に従ってください。

警告:

間違った種類のバッテリーを挿入すると、爆発の危険があります。

使用済みのバッテリーは指示に従って破棄してください。



警告: スキャナの底面の穴に指を近づけないでください。

- A. スキャナを不安定な場所、台車、またはテーブル上に置かないでください。本体が落下した場合、深刻な被害が生じる場合があります。
- B. 清掃を行うときには、スプレーなどで液体クリーナーをスキャナ部品に直接付けないでください。液体クリーナーを布に付け、湿らせた布で部品を拭いてください。
- C. ユーザにより交換可能な部品を**清掃/交換する前に**、必ずスキャナの電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてください。
- D. スキャナは、マーキングラベルに示された電源タイプで動作する必要があります。使用されている電源タイプが不明な場合は、販売代理店または地域の電力会社にご相談ください。
- E. このスキャナは、IT、TT、および TN 配電システムで使用するもので、3 線アースプラグが付いています。このプラグは、アース端子付き電源コンセントにのみ差し込むことができます。これは設置時の安全のための仕様です。プラグをコ

ンセントに差し込めない場合は、電気技師に連絡して、コンセントを交換してください。アースプラグの目的を無視した使い方をしないでください。

F. 電源ケーブルの上には何も置かないでください。コードが踏まれるような場所にはスキャナを置かないでください。

G. スキャナに延長コードを使用する場合は、延長コードに接続する製品の合計定格アンペアが延長コードの定格アンペアを超えないようにしてください。壁コンセントに差し込まれる全ての製品の合計定格が 15 アンペアを超えないようにしてください。

H. 背面または底面のキャビネットにあるスロットや開口部は、通気のために設けられています。これは、操作の信頼性を確保し、製品を過熱から保護するためのものです。これらの開口部をふさいだり覆ったりしないでください。ベッド、ソファ、じゅうたんなどの表面が柔らかいものの上に設置して、この開口部をふさいだり、覆ったりしないでください。この製品をラジエータや温風送風口の近くまたは上に設置しないでください。十分な通気ができない限り、スキャナをビルトイン式で設置しないでください。

I. スキャナ筐体のスロットから内部にどのような物体も押し込まないでください。危険な電圧ポイントに接触したり、部品をショートさせ、火災や感電の危険を生じる可能性があります。スキャナに液体をこぼさないようにご注意ください。

J. スキャナを自分で修理しようとししないでください。開閉に道具が必要なカバーを開けたり、または外すと、危険な高電圧のかかっている場所などのリスクにさらされます。そのような箇所の修理は指定サービスマンにお任せください。

K. 次の状況の場合は、スキャナのコードを壁コンセントから抜き、指定サービスマンにお任せください。

- 電源コードまたはプラグが損傷または摩滅している。
- スキャナに液体がこぼれた。
- スキャナが雨や水にさらされた。
- 操作指示に従ってもスキャナが正常に動作しない場合は、このマニュアルにある指示で説明されたコントロールのみを調整してください。このマニュアルに記載された以外のコントロールを不適切に調整すると、恒久的な損傷をきたす結果になり、この製品を正常な動作状態に復旧するためには、最善でも、資格を持つ技術者による大規模な作業が必要になります。
- スキャナが落下した、またはキャビネットが損傷した。
- スキャナの性能に、整備の必要性を示す著しい変化が見られる。

